

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-G01	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
フレッシュマンセミナー			演 習	対 面	こども保育科		
フレッシュマンセミナー							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担 当 教 員		
1	前期	必修	30	1	長谷川 智子		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		本校の学生として、思いやりのある誠実な心を意識し、基本的な生活態度を身につける。					
思考力・判断力・表現力		グループ活動を通じ、協調性を育み、自ら考え行動する力を身に付ける。					
学びに向かう力		グループで考え行動することで、クラスメイトや同期生に対しての仲間意識を持つ。					
授 業 の 概 要							
アクティビティやワークを繰り返す中で、楽しみながら社会性を身につける。							
成 績 評 価 基 準							
出欠席、授業態度、課題で評価する					筆記試験	50%	
					課 題	30%	
					日常評価	20%	
使用テキスト・教材							
なし							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. 学校生活について 2. 心の授業 3. 自己探求（グループワーク）			時間数				
			2				
			2				
			26				
その他				関 連 科 目			

					年 度	2025 年度
シラバス (授 業 概 要)			時間数は4 5分換算		科目コード	Y-G02
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
キャリアディベロップメントイチ			演習	対面	こども保育科	
キャリアディベロップメントⅠ						
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	長谷川 智子	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		社会生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルと態度・考え方を学ぶ。コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知り、3つの基本的な考え方とスキルを身に付ける。また、組織で活動する上での基本となる12の要素を知り、身につける。				
思考力・判断力・表現力		12の要素を知りこれらのスキルをバランスよく身につけることで、保育士としてのキャリアをより充実させる。				
学びに向かう力		積極的な参加、柔軟な思考、協力と強調、やオープンマインド、クリティカルシンキングなどの姿勢で向かう。				
授 業 の 概 要						
コミュニケーションの3つの基本的な考え方とスキルを訓練する。 コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知る。						
成 績 評 価 基 準						
出欠席、授業意欲・態度で評価する					出欠席	50%
					日常評価	50%
使用テキスト・教材						
独自教材をプリント配布						
授業内容・授業計画						
			時間数			
1. 社会人基礎力の応用			2			
2. 実行力・柔軟性			2			
3. 発信力・働きかけ力			2			
4. 計画力			4			
5. 主体性・想像力			4			
6. ストレスコントロール力			4			
7. 社会人基礎力診断			4			
8. イベントの企画運営			4			
9. イベント			2			
10. 反省・振り返り			2			
その他				関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-G03	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
キャリアディベロップメントⅡ			講義	演習	こども保育科		
キャリアディベロップメントⅡ							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	30	1	長谷川 智子		
授業の目的・目標 (科目のねらい)							
知識・技能		社会生活や、実習を行う上での基本的なコミュニケーションスキルと対応・考え方を学ぶ。					
思考力・判断力・表現力		自ら考え、行動した先に何が起こるか予測できるようになる。					
学びに向かう力		積極的な参加、柔軟な思考、協力と強調、やオープンマインド、クリティカルシンキングなどの姿勢で向かう。					
授 業 の 概 要							
コミュニケーションの3つの基本的な考え方とスキルを訓練し、保育現場や実習先で実践することができるようになってほしい。 コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知る。							
成 績 評 価 基 準							
出欠席、授業態度で評価する。						出欠席	50%
						日常評価	50%
使用テキスト・教材							
独自教材プリント配布							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1. オリエンテーション			2				
2. コミュニケーションの基本			2				
3. 心理的環境の管理			2				
4. 保育者とこども			4				
5. 保育者と保護者			4				
6. 保育者と同僚			4				
7. 社会人基礎力とは			4				
8. 保育者に求められているもの			4				
9. 実習生に求められているもの			4				
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）			時間数は45分換算		年 度	2025 年度
					科目コード	Y-G04
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
シュウカツゼミイチ			講義	対面	こども保育科	
就活ゼミ I						
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	15	1	三枝 昌美	
授業の目的・目標（科目のねらい）						
知識・技能		就職活動する上で基本となるルールやマナーを身につける。				
思考力・判断力・表現力		自己分析を行い、自分の経験やスキルを振り返り、何ができるのか、何を学びたいのかを明確にする。				
学びに向かう力		保育系の就職活動について活動時期や方法を学び、計画的に活動できるようにする。				
授 業 の 概 要						
自己表現をすることと、希望する企業・団体について学ぶ。また、保育の就職活動について学ぶ。						
成 績 評 価 基 準						
出欠席、授業態度、課題で評価する					筆記試験	50%
					レポート	%
					課 題	30%
					日常評価	20%
使用テキスト・教材						
授業内で提示						
授業内容・授業計画						
			時間数			
1. 働くということ・社会人としての自覚			2			
2. 自己分析・自分の魅力探し			2			
3. 就職活動の流れ			2			
4. 業界研究・施設研究とは			2			
5. 就職活動における情報収集			2			
6. 求人票の見方			2			
7. 職業研究			3			
その他			関連科目			

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	Y-G05
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
シュウカツゼミニ			演 習	対 面	こども保育科	
就活ゼミⅡ						
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	15	1	三枝 昌美	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身につける。				
思考力・判断力・表現力		自発的に情報収集や施設見学を行い、他者に頼らずに成長する姿勢を持つ。				
学びに向かう力		保育系の就職活動について活動時期や方法を学び、計画的に活動できるようにする。				
授 業 の 概 要						
自己表現をすることと、希望の会社・団体について学ぶことをバランスよく行う。						
成 績 評 価 基 準						
出欠席や積極性などを総合的に評価する。					筆記試験	%
					レポート	%
					課 題	50%
					日常評価	50%
使用テキスト・教材						
授業内で提示						
授業内容・授業計画						
			時間数			
1. 働くということ・社会人としての自覚			2			
2. 自己分析・自分の魅力探し			2			
3. 就職活動の流れ			2			
4. 業界研究・施設研究とは			2			
5. 就職活動における情報収集			2			
6. 求人票の見方			2			
7. 職業研究			3			
その他				関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-G06	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
シュウカツゼミサン 就活ゼミⅢ			演習	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	通年	必修	30	1	三枝 昌美		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		就職活動をスムーズに行うため、就職活動の基礎を振り返り、履歴書作成					
思考力・判断力・表現力		園見学に行くなど自ら行動する意欲を養う。 自分の強みをアピールするための表現力を身につける。 自分に合う就職先を探すために求める主食咲を具現化できようになる。					
学びに向かう力		自分の将来の事を真剣に考え、自ら行動に起こすことができるようになる。					
授 業 の 概 要							
就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身につける。 園見学やボランティアなど積極的に参加し実際の現場を体験し、選択肢を増やせるような環境をつくる。							
成 績 評 価 基 準							
出欠席、授業態度、で評価する。					出欠席	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
授業内で提示							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1. 働くということ・社会人としての自覚			2				
2. 自己分析・自分の魅力探し			2				
3. 履歴書の書き方			4				
4. 就職活動の流れ			2				
5. 業界研究・施設研究とは			2				
6. 就職活動における情報収集			2				
7. 求人票の見方、福利厚生とは			2				
8. 筆記試験対策			4				
9. 面接指導			2				
10. 職業研究			4				
11. 園見学			4				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-G07	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
コミュニケーションカツドウイチ コミュニケーション活動Ⅰ			演習	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	30	1	長谷川 智子		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		園見学や校外活動等の様々な活動に参加する。					
思考力・判断力・表現力		学生相互及び、教員とのコミュニケーションを深めるとともに、集団生活におけるコミュニケーション能力を身に付ける					
学びに向かう力		相手の考えや感情を理解し、自らの表現を高めながら、日常生活で信頼関係を築く。					
授 業 の 概 要							
遠足や特別講座など、様々な学校行事に積極的に参加することで、コミュニケーション能力を高めることを意識して参加してほしい。							
成 績 評 価 基 準							
出欠席で評価する。					筆記試験	%	
					レポート	%	
					課 題	%	
					日常評価	100%	
使用テキスト・教材							
なし							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1. 入学式			2				
2. 知育玩具と意図			2				
3. 春の遠足			4				
4. 後期終業式・大掃除			4				
5. 実習報告会			4				
6. 実習説明会			4				
7. 秋の遠足			4				
8. 交流会			2				
9. 後期終業式・大掃除			4				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-G08	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
コミュニケーションカツドウニ			演 習	対 面	こども保育科		
コミュニケーション活動Ⅱ							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担 当 教 員		
2	通年	必修	60	2	長谷川 智子		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		学校行事また、学生同士のコミュニケーションを深める行事の運営を経験する。					
思考力・判断力・表現力		異なる価値観や意見を持つ人に対しても柔軟に対応する力を学ぶ。					
学びに向かう力		新しい場面や関係性を通じて、自らのコミュニケーション能力を高める。					
授 業 の 概 要							
クラス内でのコミュニケーションを深め、協調性や企画力を高める。 また、本学スクーリングや研修旅行に参加し、学生同士の親睦を図る。							
成 績 評 価 基 準							
出欠席で評価する。					筆記試験	%	
					レポート	%	
					課 題	%	
					日常評価	100%	
使用テキスト・教材							
なし							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1. 新学期 オリエンテーション			2				
2. 春ハイキング			8				
3. 前期終業式			2				
4. 本学スクーリング			10				
5. 実習報告会			6				
6. 秋ハイキング			8				
7. 就職説明会			4				
8. 模擬面接			10				
9. 卒業研究発表会			8				
10.後期終業式			2				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-G09	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
コミュニケーションカツドウサン コミュニケーション活動Ⅲ			演習	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	通年	必修	30	1	三枝 昌美		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		園見学や校外活動等に参加する。また、学生相互及び、教員とのコミュニケーションを深めるとともに、集団生活におけるコミュニケーション能力を身に付けることを目的とする。					
思考力・判断力・表現力		自分の言動により周りにどのような影響があるか考える力や、自分で判断し臨機応変に対応できるスキルを付ける。					
学びに向かう力		保育教諭にとって必要なコミュニケーション能力を付けることの重要性を理解し意欲を持って取り組む。					
授 業 の 概 要							
始業式や特別講座など、様々な学校行事や、縦割り活動、外部施設や校外へ積極的に参加することで、コミュニケーション能力を高められることを意識して参加する。							
成 績 評 価 基 準							
出欠席、授業意欲・姿勢で評価する。					日常評価	50%	
					出欠席	50%	
使用テキスト・教材							
なし							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1. 新学期 オリエンテーション			2				
2. 縦割り遠足			4				
3. 園見学事前学習			2				
4. 園見学			4				
5. 実習報告会			4				
6. 縦割り交流			4				
7. 就職説明会			2				
8. 模擬面接			2				
9. 卒業研究発表会			4				
10.まとめ			2				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-G09	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ビジネスマナーイチ			講義	対面	こども保育科		
ビジネスマナー I							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	2	根上 裕恵		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		「ビジネスマナー」は社会人にとって他者とのコミュニケーションを円滑にし、より自分らしく社会貢献するために必要な知識である。					
思考力・判断力・表現力		ルールや作法を覚えるだけでなく、状況に応じて柔軟に対応する力や、相手の気持ちを理解する姿勢を学び、社会人としての信頼感や適応力を高める。					
学びに向かう力		ビジネスマナーの意味をしっかりと理解し、マニュアルとしてではなく相手への気持ち・思いやりを自然に体现できる人材を育成する。					
授 業 の 概 要							
様々なビジネスシーンでの立ち居振る舞いやその行動の意味を学んでいく。相手に興味・関心を持ち、「こんな時どうする？」と想像する力を鍛えるよう指導する。「保育士」として他者(職場・保護者など)と関わるときの対応など具体例を授業や課題に取り入れることで、ビジネスマナーを必要なものとして認識してもらいたい。課題は自分で考え自分なりの意見を出すことが重要である。							
成 績 評 価 基 準							
試験の得点・課題・授業への意欲の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は質問への理解度と授業に対する意欲(自分だったらどうするか?と考えられているか)を併せて判定する。					筆記試験	50%	
					課 題	30%	
					日常評価	20%	
使用テキスト・教材							
「自信がつくビジネスマナー」 発行／FOM 出版							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. ビジネスマナー概要説明・自己紹介			2	10. ビジネス文書			2
2. 社会人の定義			2	11. ビジネスメール			2
3. コミュニケーション			2	12. 冠婚葬祭			2
4. 言葉遣い			2				
4-1 敬語の使い方			4				
4-2 ビジネス的慣用表現			2				
6. 報連相			2				
7. 立ち居振る舞い			2				
8. 電話対応			2				
9. 接遇							
9-1 来客応対			2				
9-2 上座・下座			2				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度	
時間数は45分換算					科目コード	Y-G11	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ビジネスマナーⅡ			講義	対面	こども保育科		
ビジネスマナーⅡ							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	2	込山 まゆみ		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		保育者としての自覚を養う。					
思考力・判断力・表現力		就職活動、保育実習に供え、社会常識とマナーを身につけ、実践できることを目指す。					
学びに向かう力		形式的なルールではなく、信頼関係や相手への気遣いが行き届いたコミュニケーションを行い、ビジネスの場での信頼感や評価の向上につなげる。					
授 業 の 概 要							
ビジネスマナーⅠからⅡへ。基礎から継続してより実践的なスキルを身につける。 グループ演習、ロールプレイングなどは、積極的に参加することで、新たな発見を見出す。							
成 績 評 価 基 準							
期末試験結果、講義へのお出での席回数、提出物、授業態度などを総合的に評価。					筆記試験	50%	
					課 題	50%	
使用テキスト・教材							
ビジネスマナー (有限会社 グロー) *前年度購入継続使用 資料プリント							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1. ガイダンス 1-I 効果的な自己紹介			1	8. 電話応対 8-I ビジネス電話の特徴			1
1-II マナーの意義			1	8-II 電話で挨拶、自己紹介			1
2. 保育者としての心構え			1	8-III 取次ぎ、事例対応			1
3. 第一印象			1	9. 接遇マナー			
4. 姿勢とお辞儀、挨拶、歩き方			2	9-I 受付応対RP(名刺交換、席次)			2
5. 報告・連絡・相談			2	9-II 訪問のマナー			1
6. 言葉づかい 6-I 敬語表現			2	9-III 湯茶の接待			2
6-II 事例対応			2	10. 冠婚葬祭 10-I 人生の節目と行事			2
7. 職場のコミュニケーション				10-II 慶事のしきたり			2
7-I 人間関係理論			1	10-III 弔事のしきたり			2
7-II 相手を理解する			1	11. まとめと試験対策			1
7-III 上手な指示の受け方			1				
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算				科目コード	Y-G12
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ペンシュウジ ペン習字			演習	対面	こども保育科
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	長谷川 智子
授 業 の 目 的 ・ 目 標（科目のねらい）					
知識・技能		実際の教育現場で発揮できる書写力を身につける。			
思考力・判断力・表現力		字からも人物像が見えてくるため丁寧に書こうとする力や 保育現場の様々な素材に記名する力を養う			
学びに向かう力		保育という職業に字の綺麗さを求めないのではなく社会人としてあるべき姿 として字の丁寧さを必要と認識し学ぶ意欲をもつ			
授 業 の 概 要					
美しく読みやすい文字を書くことは、仕事や実生活の場面で有用である。					
成 績 評 価 基 準					
TPO に合わせて文字を書くポイントを習得したか。幼児教育の場で必要なひらがなを習得したか。 授業態度、提出物、試験結果を総合的に評価した上で決定する。					筆記試験 課 題 日常評価 40% 30% 30%
使用テキスト・教材					
授業内で指定					
授業内容・授業計画					
1. ペンの持ち方・姿勢・楷書の基本点画・氏名書き			時間数 6	時間数	
2. 実習日誌の書き方			6		
3. お礼状の書き方			2		
4. のし袋の書き方			4		
5. 掲示物の書き方・作品作り			6		
6. 素材への記名			4		
7. 暑中見舞い、年賀状の書き方			2		
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は45分換算					科目コード	Y-G13
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
シキサイガク			演 習	対 面	こども保育科	
色彩学						
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	後期	必修	30	2	久保田 覚	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		子どもはどの心理状態の時にどのような色を選ぶのか、心理的な働きを学ぶとともに、色彩の基本を学ぶことで、保育の現場で実際に使える色彩表現を理論と共に習得すること。				
思考力・判断力・表現力		自分の色使いやデザインに対して、他者の意見を取り入れながら改良する力を養う。				
学びに向かう力		色の持つ感情的な効果や心理的な影響を学び、作品に豊かな表現を与える力を養う。				
授 業 の 概 要						
色の基本や心理的効果を学ぶことにより、仕事や日々の生活に役立てることを目指す。特に保育の現場の色彩として、子どもの表現活動における色彩や環境構成における色彩と結びつけて考えられるようにしていく。						
成 績 評 価 基 準						
期末試験・課題・授業態度を総合的に評価し、成績を算出する。					筆記試験	50%
					課 題	45%
					日常評価	5%
使用テキスト・教材						
・教科書／「カラーコーディネーター入門 色彩」 日本色研事業						
・教材／配色カード158a 日本色研事業						
授業内容・授業計画						
			時間数	時間数		
1. 色の基本 (色の三属性)			2	11. 色彩調和／基本の配色		
2. 色彩の心理／色の持つ効果			2	12. 色彩調和／配色の応用		
3. 色彩の基礎／色相環、トーン			2	13. 対比と同化／色彩心理の諸現象		
4. 混色の基本／混色で作る色			2	14. 課題3. 色彩構成 季節のイメージ		
5. 課題1. 絵の具実習① (虹の色を作る)			2	15. まとめ		
6. 課題1. 絵の具実習② (虹色による色彩構成)			2			
7. 課題1. 絵の具実習③ (仕上げ、講評)			2			
8. 色覚について／眼の仕組みと働き			2			
9. 好悪色について			2			
10. 課題2. クレヨン実習／スクラッチング			2			
その他			関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-G14	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
セイカツトケイザイ			講義	対面	こども保育科		
生活と経済							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	通年	必修	15	2	竹内 大貴		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		お金に関する幅広い知識を学び、将来の生活設計に活かすことができるようになる。					
思考力・判断力・表現力		収入と支出をバランスよく管理し、生活設計のために正しい判断を下す力を学ぶ。					
学びに向かう力		より良い生活設計や社会的な意思決定ができる力を育むことで、経済的な知識を深め、日々の生活に役立つスキルを身に付ける。					
授 業 の 概 要							
先々に起こるライフイベントのための事前準備として、健康保険・年金・金融資産運用（預金・投資信託・外貨・株式など）・フィンテックなど、分野に分けてお金に関する知識を学ぶ。							
成 績 評 価 基 準							
期末試験と授業中の状況にて総合的に評価する。					筆記試験	80%	
					レポート	%	
					課 題	%	
					日常評価	20%	
使用テキスト・教材							
自作プリント							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. ライフイベント・バランスシート作成			2				
2. 医療保険・年金制度・雇用保険			2				
3. 住宅ローン・教育ローン			2				
4. クレジットカードワークブック			2				
5. 保険制度・生命保険・損害保険・第3分野の保険			2				
6. 金融経済の基礎知識・預貯金			2				
7. 債券・投資信託			2				
8. 外貨・フィンテック			1				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-G15	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
トータルイメージアップ			講義	対面	こども保育科		
トータルイメージアップ							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	30	2	遠藤 茂瑚		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		美しい立ち姿、立ち居振舞いの中からの、自己表現を見出す。 日本のしきたりを学び、より一層日本人としての事故の確立を目指す。					
思考力・判断力・表現力		正しい敬語、美しい日本語をマスターし、人間的な魅力を身につける。					
学びに向かう力		自分の隠れた能力や魅力、表現力の発掘					
授 業 の 概 要							
・ 毎時間、敬語の小テストを実施し、適切な言葉遣い(敬語)を繰り返して学習する ・ 一人一人が参加できるように、ロールプレイングを数多く取り入れ、実践に近い電話応対、名刺交換などを学習する ・ 個人ワークでの自己の振り返り、グループワークでの自己の気づきができるように指導する							
成 績 評 価 基 準							
・ 授業態度、期末試験、毎回の小テストの得点を総合評価した上で決定する ・ その他、ビジネス文書の一環として、暑中見舞い、年賀状、手紙など実際に投函					筆記試験	40%	
					課 題	30%	
					日常評価	30%	
使用テキスト・教材							
印象管理 (有限会社グロー) 講師作成パワーポイントなど							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 自己紹介			2	4. 対人スキル			6
2. 視覚の管理			6	①コミュニケーション			
①顔の表情				②話す			
②身体の表情				③聴くことの大切さ			
③おしゃれと身だしなみ				5. 冠婚葬祭			6
3. 聴覚の管理			6	①冠婚葬祭の意味			
①声と話しかけ方				②結婚式のマナー			
②敬語の大切さ				③葬儀のマナー			
③スピーチ				6. メイク実習			4
④絵本を読む							
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度		
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-G16		
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス			
ビジネスソフトイテ			演習	対面	こども保育科			
ビジネスソフト I								
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	後期	必修	30	1	三田 裕			
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)								
知識・技能		Word の操作方法と利用技術を実習中心に学習し、基本的なパソコン操作ができるようになる。						
思考力・判断力・表現力		パソコンスキルを身につける。						
学びに向かう力		保育業界へ就職後も、文書作成や情報のデータ化などの業務に活かせるようにする。						
授 業 の 概 要								
Word の有効な活用方法を学び、保育現場で実践することができるようにしていく。 teams でのオンライン方法を学ぶ。								
成 績 評 価 基 準								
日々の授業態度や出欠席と授業内に行う課題の評価、さらに期末試験の結果を合わせ、判定する。					筆記試験	50%		
					課 題	30%		
					日常評価	20%		
使用テキスト・教材								
30 時間でマスター WORD&EXCEL 2021								
授業内容・授業計画								
			時間数					時間数
1. Word の基本操作、簡単な文書作成			4					
2. ワークシートの活用			4					
3. ワープロ検定3 級レベルの演習			4					
4. Word の活用			6					
5. おたより例文作成(Word)			10					
6. まとめ			2					
その他				関連科目				

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-G17	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
ビジネスソフト二			演習	対面	こども保育科		
ビジネスソフトⅡ							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	1	三田 裕		
授 業 の 目 的 ・ 目 標（科目のねらい）							
知識・技能		ビジネスソフトの有効な活用について学習する					
思考力・判断力・表現力		文書作成について学び、パソコンスキルを身につける。					
学びに向かう力		保育業界へ就職後も、文書作成や情報のデータ化などの業務に活かせるようにする。					
授 業 の 概 要							
Word・Excel・PowerPoint の有効な活用方法を身に付け、保育の現場で活用することができるようになってほしい。							
成 績 評 価 基 準							
日々の授業態度や授業ごとの課題により評価する。					筆記試験	%	
					レポート	%	
					課 題	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
なし							
授業内容・授業計画							
1. PowerPoint の基礎 2. PowerPoint の活用 3. 実習報告作成 4. 発表			時間数				時間数
			10				
			8				
			10				
			2				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は45分換算					科目コード	Y-G18
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
ビジネスソフトサン			演習	対面	こども保育科	
ビジネスソフトⅢ						
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	30	1	三田 裕	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		卒業後、幼稚園・保育園で使う書類や、保護者向けのお便りなど即戦力として働けるよう応用編を学ぶ。				
思考力・判断力・表現力		数式や関数の使い方や文書作成について学び、パソコンスキルを身につける。				
学びに向かう力		保育業界へ就職後も、文書作成や情報のデータ化などの業務に活かせるようにする。				
授 業 の 概 要						
幼稚園・保育園で使う書類や、保護者向けのお便りなどを想定して方法を学ぶ。						
成 績 評 価 基 準						
日々の授業態度や出欠席と授業内に行う課題の評価により判定する。					筆記試験	%
					レポート	%
					課 題	50%
					日常評価	50%
使用テキスト・教材						
・30 時間でマスター WORD&EXCEL 2021						
授業内容・授業計画						
			時間数	時間数		
1. Excel の基本操作、表の作成			6			
2. Excel 検定3級レベル演習			4			
3. 保育指導記録の作成			4			
4. 保育計画表の作成(Excel)			4			
5. 保育と ICT			2			
6. 実習報告作成			10			
7. 発表			2			
その他				関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード	Y-G19	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
エイカイワイチ ----- 英会話 I			講義	演習	こども保育科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	15	1	笹原 涼子	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		日常の会話を英語で楽しむことができるようにするために、簡単な会話に欠くことができない基礎を学ぶ。				
思考力・判断力・表現力		言いたいことが伝わらない場合でも、別の言い回しやジェスチャーで工夫して伝える力や、完璧に話せなくても、コミュニケーションを取ろうとする積極性を持つ。				
学びに向かう力		実践的な場面で応用する力や、継続的に学び続けることで、よりスムーズで自信のある英会話を身に付ける。				
授 業 の 概 要						
具体的に場面が設定された会話や、それに伴う発音などを耳から学ぶ。						
成 績 評 価 基 準						
授業態度と毎回行う小テストとスクーリング最後の試験結果の総合評価					筆記試験 課 題 日常評価	40% 30% 30%
使用テキスト・教材						
Happy English for Childcare						
授業内容・授業計画						
			時間数		時間数	
1. Hi, I'm Yuri Tanaka.Word			2			
2. Where is the Multi-purpose room?			2			
3. Good Morning. How are you today?			2			
4. What color do you like?			2			
5. There's a ladybug on the leaf.			2			
6. It's time to play outside.			2			
7. She is allergic to eggs.			2			
8. You should go to the bathroom.			1			
その他			関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SC01	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
エイカイワイチ ----- 英会話 IS			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	20	1	笹原 涼子		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		日常の会話を英語で楽しむことができるようにするために、簡単な会話に欠くことができない基礎を学ぶ。					
思考力・判断力・表現力		言いたいことが伝わらない場合でも、別の言い回しやジェスチャーで工夫して伝える力や、完璧に話せなくても、コミュニケーションを取ろうとする積極性を持つ。					
学びに向かう力		実践的な場面で応用する力や、継続的に学び続けることで、よりスムーズで自信のある英会話を身に付ける。					
授 業 の 概 要							
具体的に場面が設定された会話や、それに伴う発音などを耳から学ぶ。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度と毎回行う小テストとスクーリング最後の試験結果の総合評価					筆記試験	40%	
					課 題	30%	
					日常評価	30%	
使用テキスト・教材							
Happy English for Childcare							
授業内容・授業計画							
1. UNIT、近大のテキスト中の保育部分 2. ジェスチャー、子供が病気になったとき、動物の鳴き声 etc 小テスト			時間数				時間数
			4				
			12				
			4				
その他				関連科目			

シラバス（授業概要）				年 度		2025 年度		
時間数は45分換算				科目コード		Y-SC02		
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース			
ショウガイスポーツ			演習	対面	こども保育科			
生涯スポーツS								
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	前期	必修	30	1	望月 満美			
授業の目的・目標（科目のねらい）								
知識・技能		実技を通して、運動の特性や特色を学び、子どもに愛好的興味・関心を持たせる工夫を考えさせ、スポーツが生涯に渡って大切であることを学ぶ。						
思考力・判断力・表現力		年齢や体調の変化に応じて、スポーツの種類や方法を柔軟に変えていく力を身につける。						
学びに向かう力		技術向上や健康の増進だけでなく、心身ともに豊かな生活を送る力を育む。						
授 業 の 概 要								
授業や保育の中で、集団遊びが成立する条件を学ぶ。								
成 績 評 価 基 準								
出席状況、授業態度で評価する。						日常評価	100%	
使用テキスト・教材								
なし								
授業内容・授業計画								
			時間数					時間数
1. 授業説明と評価説明、ラジオ体操1			2					
2. 縄跳び（短縄）、バレーボール			6					
3. 縄跳びとバレーボールのテスト			2					
4. ラジオ体操第1のテスト、バレーボール			2					
5. ラジオ体操第2の練習、バスケット			2					
6. 縄跳び（長縄）、バスケット			8					
7. 縄跳び（長縄）、バスケットのテスト			2					
マット運動			4					
まとめ			2					
その他				関連科目				

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SC03	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ジョウホウショリニユウモンイチ 情報処理入門 I S			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	20	1	横田 一輝		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		コンピュータの発達過程やハードウェアの仕組みについて学ぶ。また、インターネットを活用し、最新技術や動向について学ぶ。					
思考力・判断力・表現力		情報処理の基本的な概念や用語を素早く理解し、実践に活かす力を身につける。					
学びに向かう力		コンピュータの基本的な使い方やデータ処理、プログラミングの基礎、デジタル社会での情報の扱い方を学び、情報の効果的な活用や問題解決能力を高め、現代社会でのデジタルリテラシーを強化する。					
授 業 の 概 要							
保育などの仕事の現場で情報処理に関する話題・用語が出た場合に、その話の内容を理解し自分なりに判断できるレベルの知識を習得する。さらに、IT化の社会問題、健康問題を取り上げる。							
成 績 評 価 基 準							
学期末試験の成績で評価する。						筆記試験	50%
						日常評価	50%
使用テキスト・教材							
「情報処理入門」 近畿大学九州短期大学通信教育部							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1. ネットワーク			2				
2. インターネット			2				
3. ネットワークの脅威			2				
4. ワーム			2				
5. 情報セキュリティ			2				
6. 情報セキュリティとは			2				
7. 最近のセキュリティ問題			2				
8. IT 社会の問題			2				
9. (1) ネットワーク依存症			2				
10. (2) 健康への影響			2				
その他				関連科目			

シラバス（授業概要）				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SC04	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
ヨウジトオンガクヒョウゲン 幼児と音楽表現S			演習	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	20	1	竹内 紀江		
授業の目的・目標（科目のねらい）							
知識・技能		「声」についてのイメージを深め、発声法、表現法を習得する。また、器楽（ピアノ伴奏、楽器演奏）の基礎的な演奏法を理解し、演奏技術の向上を目指す。					
思考力・判断力・表現力		音楽のリズムやテンポに合わせて、体を自由に動かすことで表現する力を育てる。					
学びに向かう力		音楽を通じて幼児が感性や表現力、コミュニケーション力を育むため、子どもたちの個性を引き出し、自由で豊かな音楽体験をサポートする。					
授 業 の 概 要							
子どもの歌やコールキューブンを歌うことで、レパートリーを増やし、音程の感覚を養う。弾き歌いの取組と歌唱に伴うピアノ伴奏も行い、アンサンブル力を養う。							
成 績 評 価 基 準							
授業への積極的参加（20%）、単位終了試験（80%）						筆記試験	80%
						日常評価	20%
使用テキスト・教材							
「音楽（声楽教本）」近畿大学九州短期大学通信教育部 配布 「音楽（ピアノ教本）」近畿大学九州短期大学通信教育部 配布							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 発生のメカニズムと発声法・ピアノ伴奏の役割インターネット			2	7. 行事の歌の歌唱と伴奏法・和音とコード奏			2
2. コンコーネの歌唱・譜表と音名・音符と休符			2	8. わらべうた・弾き歌9.			2
3. 生活の歌の歌唱と伴奏法・拍子とリズム打楽器奏法			2	9. 輪唱・遊び歌			2
4. コールキューブゲン（2度・3度）・季節の歌の歌唱と伴奏法・リズム打楽器奏法			2	10. 子どもと音楽活動の現在・全体の振り返り			2
5. コールキューブゲン（4度・5度）・リズム譜の作成・音程			2				
自然の歌の歌唱と伴奏法・長音階・リズム楽器演奏							
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SC05	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
オンガクヒョウゲンギジュツ			演習	対面	こども保育科		
音楽表現技術S							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	20	1	小林 教子		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		「幼児と音楽表現」での学修を元に、より実践的な歌唱法、ピアノ演奏法、伴奏法、表現法を習得する。教育現場で必要な声楽曲や弾き歌いのレパートリーを増やす。					
思考力・判断力・表現力		自分の個性を音楽に込め、独自のスタイルを表現する力を育む。					
学びに向かう力		音楽の技術や感性を深め、個性を活かした豊かな表現を目指すために、音楽を通じて自己表現力や協調性を高め、より高度な表現力を身に付けるための力を育成する。					
授 業 の 概 要							
子どもの歌やコールキューブンゲンを歌うことでレパートリーを増やし音程の感覚を養う。楽典の作品解釈を行い、音楽表現の向上と音楽方法についても検討する。							
成 績 評 価 基 準							
授業への積極的参加 (20%)、単位終了試験 (80%)						試験	80%
						日常評価	20%
使用テキスト・教材							
「音楽 (声楽教本)」近畿大学九州短期大学通信教育部 配布							
「音楽 (ピアノ教本)」近畿大学九州短期大学通信教育部 配布							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 基礎練習			2				
2. 音程			2				
3. コールキューブンゲン			4				
4. ピアノ弾き歌い			6				
5. 子どもの歌			2				
6. コンコーネ			2				
実技試験			2				
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度
				科目コード		Y-SC06
時間数は4 5分換算						
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
ヨウジトゾウケイヒョウゲン ----- 幼児と造形表現S			演習	対面	こども保育科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	20	1	望月 裕史	
授 業 の 目 的 ・ 目 標（科目のねらい）						
知識・技能		様々な素材や表現方法を通して自己表現する楽しさを知り、表現者として主体的に取り組む。				
思考力・判断力・表現力		色や形、質感の違いに気づき、さまざまな視点で物事を見る力を育てる。				
学びに向かう力		幼児の造形表現への理解を深め、豊かな創造性を育み、必要な援助と成長を見守ることができる保育者の育成と、実践的造形教育指導の習得を目指す。				
授 業 の 概 要						
幼児画の発達過程と特徴理解を深め、幼児期の発達に適した創作活動の援助について考察する。						
成 績 評 価 基 準						
課題・提出物（70%）、単位終了試験（30%）					終了試験	30%
					課題提出物	70%
使用テキスト・教材						
「図画工作」近畿大学九州短期大学配布 「幼稚園教育要領（最新版）」 「保育所保育指針（最新版）」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領（最新版）」						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数			時間数
1. 身近な素材を使つての制作			2			
2. 0歳～3歳の子どもの絵			2			
3. 3歳～6歳の子どもの絵と造形			2			
4. 子どもの作品から見えてくるもの			2			
5. 素材と技法の活用			2			
6. 創作への展開			2			
7. オリジナル作品制作			2			
作品発表と鑑賞・まとめ			2			
その他				関連科目		

シラバス（授業概要）				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SC07	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
キョウイクシンリガク 教育心理学S			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	20	1	鈴木 幸子		
授業の目的・目標（科目のねらい）							
知識・技能		子どもの学習行動の概念を学び、筋道を立てて考える思考の形成、勉強の仕方、学習に対する意欲・自発性・態度を肯定する価値観を軸にして、幼児の心理学について学ぶ。					
思考力・判断力・表現力		自分の学びのスタイルや得意・不得意を理解し、効果的な学習法を見つける力や、自己の感情や動機を把握し、学びに対するモチベーションを維持する力を身につける。					
学びに向かう力		学びのプロセスや人間の発達、行動の理解を深めることで、自己の成長だけでなく、他者の学びをサポートできる力を身につける。					
授 業 の 概 要							
心理学の具体的な内容を学ぶことで、心理学が保育とどのように関係しているかを学ぶ。							
成 績 評 価 基 準							
出席率、授業態度、試験の結果を総合的に判断して行う。					筆記試験	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
「保育に生かす教育心理学」 伊藤健次 編 (株)みらい							
授業内容・授業計画							
			時間数	時間数			
1. 就学に向けて、幼、保、小連携			4				
2. 家庭ぐるみの教育的支援			4				
3. 子どもをめぐる教育的問題			4				
4. 選択理論心理学			6				
5. まとめ			2				
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SC08	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ケンコウ（シドウホウ） 健康（指導法） S			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	20	1	鈴木 幸子		
授 業 の 目 的 ・ 目 標（科目のねらい）							
知識・技能		現代の日本における疾病の現状と食生活を概観した上で、子どもの運動能力の現状理解と保育における生活習慣等を具体的に学ぶ。					
思考力・判断力・表現力		健康や栄養、運動、心のケアなどに関する基礎知識を正確に身に付ける。					
学びに向かう力		保育者として健康の視点から現代の子どもに必要な保育内容を実践する力を培う。					
授 業 の 概 要							
自身の健康と課題、子どもの健康と課題のどちらにも積極的に関心を持ち、課題に対する対策を実践する。							
成 績 評 価 基 準							
筆記試験 40%、課題の内容 50%、積極的参加態度 10%					筆記試験	40%	
					課 題	50%	
					日常評価	10%	
使用テキスト・教材							
近畿大学短期大学部指定、その他授業内で紹介する							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数			時間数	
1. 日本における健康の現状と対策			2				
2. 生活習慣と食生活			2				
3. 子どもの健康の現状			2				
4. 子どもの運動能力			2				
5. 子どもの運動能力と保育内容			2				
6. 教育・保育要領における健康			2				
7. 子どもの生活習慣遊			2				
8. 子どもの日常生活における安全			2				
9. 子どもと震災			2				
まとめ			2				
その他				関 連 科 目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SC09	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ニンゲンカンケイ (シドウホウ)			講義	対面	こども保育科		
人間関係 (指導法) S							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	20	1	長谷川 智子		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		幼稚園教育要領の中の「人間関係」の分野に焦点を当て、理解を深める。					
思考力・判断力・表現力		自分の性格や感情、コミュニケーションの癖を理解し、他者との関わり方を見直す力を身につける。					
学びに向かう力		子どもは生活や遊びの場面で、関わりながら育っている。保育者を志す者として、乳幼児期の発達を見る視点、子どもが人と結び合い豊かに関わること、保育者としての対応を学ぶ。					
授 業 の 概 要							
領域「人間関係」に関する知識を得、子ども個人の成長と、仲間集団の成長との双方に配慮しながら、具体的な指導を行う実践力の基礎を培う。授業は、ビデオやグループでのアクティブラーニングを行う。							
成 績 評 価 基 準							
出欠席及び平常点、課題提出、試験により評価する。					筆記試験	40%	
					課 題	30%	
					日常評価	30%	
使用テキスト・教材							
授業内で紹介する							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. オリエンテーション			2	7. 乳幼児期における人とのかかわりの発達			2
2. 領域「人間関係」			2	8. 人とのかかわりが難しい子どもへの援助			2
3. 遊びの中で育つ人との関わり、園生活における人とのかかわり			2	9. 領域「人間関係」をめぐる諸問題			2
4. 様々な職業の人と関わる保育者			2	まとめ			2
5. 人間関係にかかわる現代社会の状況			2				
6. 人との関わりを育てる保育とは			2				
			2				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SC09	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ゾウケイヒョウゲン (シドウホウ)			演 習	対 面	こども保育科		
造形表現(指導法)S							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	20	1	望月 裕史		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		保育での表現活動を円滑にするために欠くことのできない適格な掲示物づくりや、児童の表現活動等における指導力を身につける。					
思考力・判断力・表現力		素材や技法を自由に使いこなし、個性豊かな造形表現を生み出す。					
学びに向かう力		モダンテックを中心とした作品制作をとおして基礎を身に付け、個々の表現力を伸ばしていく。					
授 業 の 概 要							
授業は準備から大切になる。忘れ物をせず授業に臨み、指導者の模範制作を見て理解することから授業は始まる。集中力のある制作、個性の発揮等を大切にし、最後まであきらめずに仕上げ、確実に提出することが重要である。							
成 績 評 価 基 準							
作品の完成度や授業への意欲、持ち物などを中心に広く総合的に評価し決定する。なお作品が1つでも未提出であれば成績の評価は行われない。					課 題	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
・造形表現 (指導法) ・絵具を中心とした画材							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
1. オリエンテーション			2	4. 2-1. スタンピング			2
① 授業のきまり ②内容 ③評価について				5. 2-2. ドリッピング			2
2. デッサン			2	6. 2-3. バチック			2
①画鉛筆で各自持参した野菜など自然物を描く。毎回継続してデッサンを行う(6回)				7. 2-4. スクラッチ			1
3. 色の学習を学びながらモダンテクニックの実習、作品作り			1	8. 2-5. スパッタリング			1
				9. 2-6. たたきぼかし			1
				10. 2-7. デカルコマニー			1
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SC10	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ヨウジトケンコウ			演習	対面	こども保育科		
幼児と健康S							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	20	1	近畿大学九州短期大学 スクーリング科目		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		「今の時代を生きる子どもたち」に対する運動遊びのもつ教育的意義について理解する。					
思考力・判断力・表現力		幼児の発育や成長に関する基礎的な知識を学ぶ。					
学びに向かう力		各種の運動遊びを素材とした指導計画の作成や、「ねらい」を実現するために必要な知識や技術を習得する。					
授 業 の 概 要							
幼児期の運動あそびを追体験することを通して、保育者として必要な運動あそびのレパートリーを増やすこととバリエーションの広げ方を理解するとともに、運動あそびの指導に必要な保育技術を身につける。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、実技試験、課題レポートの結果を総合評価する。					実後試験	40%	
					レポート	40%	
					授業評価	20%	
使用テキスト・教材							
授業内で提示							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
1. 乳児と幼児の運動発達と健康			2				
2. 現代社会における運動遊びと健康の意義			2				
			2				
3. 運動遊びの指導計画作成			2				
4. グループワーク			4				
5. 運動遊びの指導計画テーマ検討			2				
6. 指導計画のテーマについて情報収集			2				
7. 発表会			4				
まとめ			2				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SC11	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
カンキョウ (シドウホウ)			講義	対面	こども保育科		
環境(指導法) S							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	20	1	三枝 昌美		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		保育内容の5領域の1つである「環境」という側面から子ども理解を深め、具体的な保育内容を学ぶ。					
思考力・判断力・表現力		子どもの発達過程に即した子ども理解と共に、実施の体験やグループワークを通し、知識・技術・判断力を習得する。					
学びに向かう力		幼児や児童が身の回りの自然、社会、生活環境について主体的に気付き、興味を持ち、持続的に学び続けるために、子どもが環境と関わりながら学べるような活動の工夫や、環境への感謝や共生の意識を育む力を身につける。					
授 業 の 概 要							
子どもはさまざまな環境の中で遊びを通して学んでいく。子どもが「生きる力」を身につけるには、どのような環境を構成していけばよいのか学びを深める。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、課題の提出状況、定期試験の得点を総合評価する。					筆記試験	40%	
					課 題	30%	
					日常評価	30%	
使用テキスト・教材							
近畿大学短期大学部指定、その他授業内で紹介する							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 領域「環境」とは			2	7. 数量・図形に親しむ			2
2. 園の環境 子どもの発達と環境			2	8. 科学を体感する			2
3. 自然とふれあい感動する、自然を取り入れて遊ぶ			2	9. 標識や文字の必要感を育む身近な情報や施設を生かし、生活を豊かにする			2
4. 季節感を味わう			2	10. 指導形態とカリキュラム			2
5. 物事の法則性に気づく			2				
6. 生命の営みにふれる、身のまわりの物に愛着をもつ			2				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SC12	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
コトバ (シドウホウ)			講義	対面	こども保育科		
言葉(指導法)S							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	20	1	三枝 昌美		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		保育内容の5領域の1つである「言葉」という側面から子ども理解を深め、具体的な保育内容を学ぶ。					
思考力・判断力・表現力		物や事象を適切な言葉で表現する力を育てる。					
学びに向かう力		子どもの発達過程に即した子ども理解と共に、実施の体験やグループワークを通し、知識・技術・判断力を習得する。					
授 業 の 概 要							
人とのコミュニケーションに言葉はかかせない。保育者のどのようなかわりが子どもの言葉を促すのか、常に子どもの姿を想像しながら学ぶ。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、課題の提出状況、定期試験の得点を総合評価する。					筆記試験	40%	
					課 題	30%	
					日常評価	30%	
使用テキスト・教材							
近畿大学短期大学部指定、その他授業内で紹介する							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 保育内容「言葉」とは、言葉をめぐるワークショップ			2	7. 言葉で表現する			2
2. 言葉の育つ道すじ			2	8. 言葉でのかわりに配慮を必要とする子ども、言葉をめぐる相談の実際			2
3. 言葉の前の言葉			2	と対応言葉の発達と表現力			
4. 1つの言葉で			2	まとめ			2
5. 人とつながる言葉			4				
6. 言葉で考える			2				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SC14	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
ショウガイジホイク 障がい児保育S			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	20	1	工藤 豪		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		障がいの定義や捉え方、障がい児保育の目的や意義を理解する。					
思考力・判断力・表現力		障がいのある子どもたちが自らの可能性を最大限に引き出し、主体的に成長できるように支援するために、子どもの特性やニーズに合わせた適切な指導を行い、自己肯定感や社会性を高める環境を作る力を身につける。					
学びに向かう力		障がい児保育・療育の歴史と展開を把握するとともに、集団援助の場面における保育者の意図についての理解を深めていく。					
授 業 の 概 要							
障がい児保育の意義や形態を理解するとともに、障がい児の特徴を踏まえた保育のポイントや保育者の意図について考えていく。							
成 績 評 価 基 準							
成績は、作業と平常点を総合的に勘案して評価する。					確認作業	50%	
					課 題	25%	
					日常評価	25%	
使用テキスト・教材							
尾崎康子ほか編、2018、『よくわかる障害児保育 第2版』 ミネルヴァ書房							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 障がいの定義と捉え方			2	7. 障がい児のいる世帯の生活実態			2
2. 障がい児保育の目的と意義			2	8. 保育所における医療的ケアの実態			2
3. 分離保育と統合保育			2	9. 障害のある子どもに対する集団援助			2
4. 言語障害における特徴と保育現場での支援			2	―遊びを通して―			
5. 発達支援の技法			2	10. 総括と確認作業			2
―TEACCH プログラム―							
6. 障がい児保育の実態			2				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度
				科目コード		Y-SC15
時間数は4 5分換算						
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
ジドウブンカ 児童文化S			演習	対面	こども保育科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	20	1	三枝 昌美	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		児童文化の具体的な内容をおさえ、特に、子どもの遊びとおもちゃの重要性を理解する。				
思考力・判断力・表現力		伝承遊びやわらべ歌などの集団活動を通じて、他者との協調性や社会的スキルを学ぶ。				
学びに向かう力		児童文化の分野に実際に触れ、試したり、繰り返したりすることにより、実践にいかされた指導ができるようになること。				
授 業 の 概 要						
子どもの遊びに児童文化財は欠かせないものなのである。教材の準備や工夫した製作も大切であるが、最終的には、それをどう利用し、活用していけるかを考える。						
成 績 評 価 基 準						
・ 課題を出した時の提出物で評価 ・ 授業内での簡単な発表(手遊び・読み聞かせなど)や製作物での評価					課 題	50%
					日常評価	50%
使用テキスト・教材						
・ 文部科学省「幼稚園教育要領」 ・ 内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 ・ 厚生労働省「保育所保育指針」 その他授業内で紹介する						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 人形劇・紙芝居・ペープサート・シアター			2			
2. ペープサート作りを計画・作成し、使い方・活用法を学ぶ			2			
3. 児童文化財の作成（立案）			4			
4. 児童文化財の作成			8			
5. 発表・まとめ			4			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SC16	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
コドモノケンコウトアンゼン 子どもの健康と安全S			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	20	1	望月 満美		
授 業 の 目 的 ・ 目 標（科目のねらい）							
知識・技能		小児に起こりやすい疾病、異常、障害などについて理解を深める。					
思考力・判断力・表現力		子どもの心身の成長に合わせた健康習慣や安全ルールを理解し、主体的に健康を守る力を育てる。					
学びに向かう力		小児の生活を積極的に豊かにし、体力や情操を高め、障害を避け、疾病の予防の仕方、地域の連携のあり方について学ぶ。					
授 業 の 概 要							
子どもに起こりやすい疾病・障害等の知識を学び、理解を深められるようにする。							
成 績 評 価 基 準							
成績は、レポート提出と平常点を総合的に勘案して評価する。					レポート	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
授業内で提示							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 子どもの健康と保育の環境			2	8. 3歳未満児への対応			2
2. 個別対応と集団全体の健康及び安全管理			2	9. 個別的な配慮を要する子どもへの対応			2
3. 衛生管理、自己防止及び安全管理、危機管理、災害への備え			2	10. 障害のある子どもへの対応			2
4. 体調不良や傷害が発生した場合の対応			2				
5. 応急処置、救急処置及び救急蘇生法			2				
6. 感染症の集団発生の予防、感染症発生時と罹患後の対応			2				
保育における保健的対応の基本的な考え方							
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度		
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SC17		
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース			
コドモノショクトエイヨウ 子どもの食と栄養S			演習	対面	こども保育科			
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2	前期	必修	20	1	吉川 直美			
授 業 の 目 的 ・ 目 標（科目のねらい）								
知識・技能		小児の発育・発達特性、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食（保育所給食）、食教育の重要性を理解すること。						
思考力・判断力・表現力		食材の種類や栄養素の働きを理解し、バランスの取れた食事の大切さを知る。						
学びに向かう力		保育者として小児に適切な食事を提供することができるよう、各時期の栄養法を理解し、調理技能の修得を目指す。						
授 業 の 概 要								
授業中に集中力を欠くことなく、主体的に取り組む姿勢をもつように心掛けるとともに、その日に学んだことをしっかりと復習し、身につけていくことが大切である。								
成 績 評 価 基 準								
成績は、実習態度と課題提出を総合的に勘案して評価する。						課 題	50%	
						日常評価	50%	
使用テキスト・教材								
子どもの食と栄養 二見大介・高野 陽 編著 北大路書房 0-5歳まで使えるはじめての離乳食+こどもごはん ナツメ社								
授業内容・授業計画								
1. 調乳実習、人工栄養（粉ミルクから乳汁を作成する）			時間数	4	5. 幼児食（クッキング）、カラフル野菜のキーマカレー作り			時間数
2. 離乳食実習（5～6ヶ月、7～8ヶ月、9～11ヶ月、12～18ヶ月）			時間数	4				
3. 幼児食実習（間食、軽食、食材、調理器具の扱い方）			時間数	4				
4. 幼児食実習（間食、軽食、食材、調理器具の扱い方）			時間数	4				
その他				関連科目				
※実務経験のある教員が担当する科目である。								

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度		
時間数は4 5分換算					科目コード	Y-SC18		
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス			
シヤカイテキヨウゴ 社会的養護ⅡS			講義	対面	こども保育科			
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2	前期	必修	20	1	村松 信知			
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)								
知識・技能		子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について、具体的に理解する。施設養護及び家庭養護の実践について理解を深める。						
思考力・判断力・表現力		支援を受けながら、自分の長所や得意なことを見つけ、肯定的な自己イメージを持てるようになる。						
学びに向かう力		子どもたちが安心して生活し、心身ともに健やかに成長できるように、自己の権利や支援の重要性を理解し、自分や他者を大切にする力を育む。						
授 業 の 概 要								
社会的養護における計画・記録・自己評価の実践や、相談援助の方法・技術について学びを深める。 グループワークを行い、生活の密着する社会的養護を考える								
成 績 評 価 基 準								
筆記試験 40%、課題の内容 50%、積極的参加態度 10%					筆記試験	40%		
					課 題	50%		
					日常評価	10%		
使用テキスト・教材								
近畿大学短期大学部指定、その他その都度紹介する。								
授業内容・授業計画								
1.社会的養護における現状の理解			時間数	2	8.社会的養護に関わる相談援助者の実際の役割について		時間数	2
2.児童福祉法改正。それに伴う方向性				2	9.施設を退所してからの流れ			2
3.社会的養護の歴史的流れ役割について				2	10.今後の課題			2
4.児童福祉施設への理解				2				
5.児童福祉施設への理解				2				
6.子どもの権利について				2				
7.社会的養護における保育士等の生活援助技術				2				
その他				関連科目				
※実務経験のある教員が担当する科目である。								

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	Y-SC19
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
ニュージホイクニ 乳児保育ⅡS			講義	対面	こども保育科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	20	1	三枝 昌美	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。				
思考力・判断力・表現力		乳児の成長や発達を支えるために、愛情を持って寄り添い、柔軟に対応するために、観察力や対応力、保護者との信頼関係など、多くのスキルを身につけ、乳児の心身の発達を支援し、将来の自立に向けた大切な基盤を作る。				
学びに向かう力		養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。				
授 業 の 概 要						
乳児保育における配慮の実践について、実技を通し、具体的に学ぶ。						
成 績 評 価 基 準						
授業態度、課題を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。					課 題	50%
					日常評価	50%
使用テキスト・教材						
近畿大学短期大学部指定、その他授業内で紹介する。						
授業内容・授業計画						
1. 子どもと保育士等との関係の重要性			時間数	2	7. 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮	
2. 個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり			時間数	2	8. 集団での生活における配慮、環境の変化や移行に対する配慮	
3. 子どもの主体性の尊重と自己の育ち			時間数	2	9. 長期的な指導計画と短期的な指導計画	
4. 子どもの体験と学びの芽生え			時間数	2	10. 個別的な指導計画と集団の指導計画	
5. 子どもの生活や遊びを支える保育環境の構成			時間数	2		
6. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活・遊びと援助の実践			時間数	2		
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SC20	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
オンガクヒョウゲン（シドウホウ） 音楽表現(指導法)S			演習	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	20	1	竹中 紀江		
授業の目的・目標（科目のねらい）							
知識・技能		幼児期にとってどのようなことが必要なのか考え、保育者にとって必要な環境設定法や創造・感情豊かにしていくための援助法について、実践的表現活動を通して学ぶ。					
思考力・判断力・表現力		音楽理論やリズム、メロディー、音程、テンポなど、音楽表現の基礎を理解する力。					
学びに向かう力		音楽的なあやし言葉かけ遊びや月齢に応じたリズム遊びを創作し、実践していく。					
授 業 の 概 要							
実践的表現活動を通し、音楽的なあやし言葉かけ遊びや月齢に応じたリズム遊びを創作し、実践していく。保育者として感性豊かな人間性を育てられるように、積極的に実践活動に取り組んでほしい							
成 績 評 価 基 準							
成績は、試験と平常点を総合的に勘案して評価する。						筆記試験	50%
						日常評価	50%
使用テキスト・教材							
近畿大学短期大学部指定、その他その都度紹介する。							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 月齢にあわせたリズム遊び			4				
2. グループでの指導案作成			4				
3. 実践事前指導			4				
4. 3・4 歳児での実践実習			6				
5 歳児での実践実習			2				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SC21	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ゲキアソビ (シドウホウ)			演 習	対 面	こども保育科		
劇あそび (指導法) S							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担 当 教 員		
1	後期	必修	20	1	佐藤 友美		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		子どもの発達段階を踏まえた劇遊び・劇づくりのプロセスを理解し、製作や実演の仕方を学ぶ。					
思考力・判断力・表現力		子ども一人ひとりの表現したい気持ちを大切にし、自由に演じられる環境を整える力。					
学びに向かう力		劇遊びの基礎的な知識を獲得し、それを生かして劇遊び・劇づくりを考え、保育の中で実践できること。					
授 業 の 概 要							
子どもの立場に立ち、どのような内容・使用する物が良いか、演技方が良いかなどを考える							
成 績 評 価 基 準							
・ 課題を出した時の提出物で評価 ・ 授業内での発表や製作物での評価					課 題	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
必要な資料をプリントとして配布							
授業内容・授業計画							
1. 子どもの劇遊び・劇づくりについて学ぶ 身近な音・声・言葉・身振りの表現方法を考える (擬声語・擬態語)			時間数	4. グループに分かれて、劇遊びに必要なものを製作する (配役のお面・持ち物等) 子どもの劇遊びの展開を考え、劇の発表までに練習をする。 (必要に応じ、背景や音響等、劇に必要なものを用意する)			時間数
2. 絵本や保育教材を利用した導入方法を学ぶ (大型絵本・エプロンシアター等)			4				
劇遊びに必要なお面 (動物) 製作をし、簡単にできる劇遊びごっこ方法を学ぶ			2				
3. グループに分かれて、劇遊びの計画を立てる (台本・配役・必要なもの等)			10				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SC22	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
コソダテシエン 子育て支援S			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	20	1	工藤 豪		
授 業 の 目 的 ・ 目 標（科目のねらい）							
知識・技能		保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解する。					
思考力・判断力・表現力		日常的な相談に応じ、子どもの成長や発達に関する情報を共有する。保護者の悩みや要望に耳を傾け、信頼関係を築く力。					
学びに向かう力		保護者や子どもが安心して成長できる環境を整えるために、コミュニケーション力や支援計画の立案力など、幅広いスキルを身につける。					
授 業 の 概 要							
児童虐待や子育て支援に関する基本的知識を身につけるとともに、保護者支援において必要となる視点・方法について理解を深めることである。							
成 績 評 価 基 準							
成績は、確認作業の結果と平常点を総合的に勘案して評価する。						筆記試験	50%
						課 題	25%
						日常評価	25%
使用テキスト・教材							
小野崎佳代・石田幸美編著、2020、『保護者支援・子育て支援（MINERVA 保育士等キャリアアップ研修テキスト）』、ミネルヴァ書房。							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 児童虐待の実態における特徴と問題点			2	7. 子育て支援に関する取り組みの特徴と課題			2
2. 児童虐待に関する制度の動向			2	8. 自治体における子育て支援の取り組み事例についての比較考察			2
3. 児童虐待ケースへの対応			2	9. 子育てに関する経済的支援			2
4. 保護者との信頼関係構築に向けてー自己開示とリフレーミングー			2	10. 総括と確認作業			2
5. 相談援助における基本的な面接の技法			2				
6. 保護者を理解するための情報収集ージェノグラムの作成ー			2				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SC23	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ホイク・キョウシヨクジッセンエンシュウ 保育・教職実践演習 S			演 習	対 面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	20	1	三枝 昌美		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		保育者を目指す学生として、自分を見つめ直し、現在の自分自身の実態と課題を明確にする。					
思考力・判断力・表現力		子ども一人ひとりの特性や状況に応じて柔軟に対応し、保育現場で直面する課題を観察し、適切な解決方法を導き出す力を身につける。					
学びに向かう力		保育現場での実践力を高め、子どもたちの成長に寄り添うために必要なスキルや知識を深め、柔軟に適応する力を身につける。					
授 業 の 概 要							
今まで学んできた保育・教職にかかわる課題の中から、自分たちの興味のあることや気になることを一つ選び、様々な角度から研究して欲しい。また、物事を追及することの楽しさを知ってほしい。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、課題、発表を総合評価し、合計6 0点以上のものに単位を与える。						課 題	50%
						日常評価	50%
使用テキスト・教材							
必要に応じてプリントを配布する。 履修カルテ							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数	時間数			
1. 社会性や対人能力			4				
2. 子どもの理解と集団づくり			4				
3. 保育内容と援助			2				
4. 自己課題を克服する取り組み			2				
5. 自分の「強み」をいかす取り組み			2				
6. 保育課題の検討			3				
まとめ			3				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SC24	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
ホイクジッシュウジゼンジゴシンドウイチ (ホイク)			演習	対面	こども保育科		
保育実習事前事後指導 I (保育)S							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	20	1	三枝 昌美		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		実習の理念を理解し、保育者、社会人としての自覚を持つ。					
思考力・判断力・表現力		保育現場での具体的な行動計画を立て、目的意識を持って実習に臨むために、実習前に自分の目標を具体的に設定し、成長に向けた明確なビジョンを持つ力。					
学びに向かう力		保育実習を円滑におこなうために、目的や課題が明確になるよう事前指導を行う。また、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。					
授 業 の 概 要							
観察実習を円滑におこなうために、目的や課題が明確になるよう事前指導を行う。また、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。日頃の学習の集大成が実習である。失敗を恐れず、積極的に実習に臨めるよう授業を受け、事前準備をしっかりと行う。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計 60 点以上のものに単位を与える。					課 題	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
『新訂 幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド』 同文書院 他							
授業内容・授業計画							
			時間数	時間数			
1. 保育園の一日／実習生の心構え			4				
2. 子どもの発達と注意点			4				
3. 乳児保育の実際／乳児の援助方法			4				
4. 実習日誌・部分実習案の書き方			4				
5. 保育実習に向けての準備			4				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SC25	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ホイクジッシュウジゼンゴンドウイチ (シセツ)			演 習	対 面	こども保育科		
保育実習事前事後指導 I (施設)S							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担 当 教 員		
3	前期	必修	20	1	三枝 昌美		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		保育所以外の児童福祉施設の役割や機能・目的について理解する。また、各施設の対象児童・利用者についての特徴や援助法について学び、基礎知識を身につける。					
思考力・判断力・表現力		保育現場での具体的な行動計画を立て、目的意識を持って実習に臨むために、実習前に自分の目標を具体的に設定し、成長に向けた明確なビジョンを持つ力。					
学びに向かう力		保育者、社会人としての自覚を持ち、施設実習を円滑におこなうために、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。					
授 業 の 概 要							
施設実習を円滑におこなうために、目的や課題が明確になるよう事前指導を行う。また、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。日頃の学習の集大成が実習である。失敗を恐れず、積極的に実習に臨めるよう授業を受け、事前準備をしっかりと行う。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計 60 点以上のものに単位を与える。					課 題	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
『新訂 幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド』 同文書院 他							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				
1. 施設実習の意義と目的 / 体験してみよう (視覚障害)			4				
2. 乳児院・児童養護施設の役割と存在意義 利用児の特性			4				
3. 障害児 (者) 施設の役割と存在意義 利用児 (者) の特性			4				
4. 施設職員としての役割と専門性			2				
5. 施設利用児の人権と最善の利益			2				
6. 施設研究			4				
その他				関 連 科 目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要） 時間数は45分換算					年 度	2025 年度
					科目コード	Y-SC26
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
ホイクジッシュウイチ（ホイク） 保育実習Ⅰ（保育）S			実習		こども保育科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	60	2	三枝 昌美	
授 業 の 目 的 ・ 目 標（科目のねらい）						
知識・技能		保育士として必要な資質・能力・技術の向上を課題とし、これまで学習してきた理論を基礎として、保育現場において生きた保育技術を学ぶ。				
思考力・判断力・表現力		子どもの表情や遊び方から、どのような支援が必要かを見極める。				
学びに向かう力		実習の目的を認識し、実習園の指示に従いながら、目的を達成するために真剣に実習に取り組む。				
授 業 の 概 要						
保育所にて2週間実習を行う。						
成 績 評 価 基 準						
実習態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。					課 題	50%
					実習評価	50%
使用テキスト・教材						
適宜						
授業内容・授業計画						
1. 保育園での実習			時間数 60			時間数
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SC27	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ホイクジッシュウイチ (シセツ)			実習		こども保育科		
保育実習 I (施設)S							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担 当 教 員		
3	後期	必修	60	2	三枝 昌美		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		保育士として必要な資質・能力・技術の向上を課題とし、施設をとりまく家庭と地域の生活実態に触れ、家庭福祉ニーズに対する理解力を深める。					
思考力・判断力・表現力		福祉施設の理念や目的を理解し、それに基づいた支援方法を学ぶ力。					
学びに向かう力		子育てを支援するために必要とされる能力を養う。					
授 業 の 概 要							
保育所以外の児童福祉施設にて2週間実習を行う。							
成 績 評 価 基 準							
実習態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。					課 題	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
適宜							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. 児童福祉施設での実習			時間数 60				時間数
その他				関 連 科 目			

シラバス（授業概要）				時間数は45分換算		年 度	2025 年度
						科目コード	Y-SC28
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
ホイクジッシュウニ 保育実習ⅡS			実習		こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	前期	必修	60	2	三枝 昌美		
授業の目的・目標（科目のねらい）							
知識・技能		保育士として必要な資質・能力・技術の向上を課題とし、これまで学習してきた理論を基礎として、保育現場において生きた保育技術を学ぶ。					
思考力・判断力・表現力		事前に立てた実習計画を実践し、計画通りに保育活動を行う力。					
学びに向かう力		実習の目的を認識し、実習園の指示に従いながら、目的を達成するために真剣に実習に取り組む。					
授 業 の 概 要							
保育所にて2週間実習（責任実習）を行う。							
成 績 評 価 基 準							
実習態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。					課 題	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
適宜							
授業内容・授業計画							
1. 保育園での実習			時間数 60	時間数			
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授業概要）				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SC29	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
キョウイクジッシュウジゼンジゴンドウ 教育実習事前事後指導S			演習	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	20	1	三枝 昌美		
授 業 の 目 的 ・ 目 標（科目のねらい）							
知識・技能		実習の理念を理解し、保育者、社会人としての自覚を持つ。保育実習を円滑におこなうために、目的や課題が明確になるよう事前指導を行う。					
思考力・判断力・表現力		実習の目的や意義をしっかりと理解し、それに沿った準備や振り返りを行う力。					
学びに向かう力		実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。					
授 業 の 概 要							
観察実習を円滑におこなうために、目的や課題が明確になるよう事前指導を行う。また、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。日頃の学習の集大成が実習である。失敗を恐れず、積極的に実習に臨めるよう授業を受け、事前準備をしっかりと行う。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計 60 点以上のものに単位を与える。					課 題	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
『新訂 幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド』 同文書院 他							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1. 実習の理念（意義・目的・内容）、幼稚園・保育所・こども園の違い			4				
2. 幼稚園の一日／実習生の心構え			4				
3. 実習に向けての諸注意			4				
4. 実習日誌・部分実習案の書き方			4				
5. 子どもの発達と注意点			4				
その他			関連科目				
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授業概要）				年 度		2025 年度	
				科目コード		Y-SC30	
時間数は45分換算							
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
キョウイクジッシュウイチ 教育実習①S			実習		こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	30	1	三枝 昌美		
授業の目的・目標（科目のねらい）							
知識・技能		専門科目で習得した幼児教育に関する知識、技能を活用しながら体験的に、また総合的に認識を深め、幼児教育に関わる理論と実践を統合していく。					
思考力・判断力・表現力		子どもの行動や反応を観察し、学びの状況を適切にかかわる力。					
学びに向かう力		見学・観察実習を主とする実習を行い、幼児教育の理解を深める。					
授 業 の 概 要							
幼稚園にて1週間実習（観察実習）を行う。							
成 績 評 価 基 準							
実習態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。					課 題	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
適宜							
授業内容・授業計画							
1. 幼稚園での実習			時間数 20	時間数			
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SC31	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
キョウイクジッシュウニ 教育実習②S			実習		こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	前期	必修	90	3	三枝 昌美		
授業の目的・目標（科目のねらい）							
知識・技能		専門科目で習得した幼児教育に関する知識、技能を活用しながら体験的に、また総合的に認識を深め、幼児教育に関わる理論と実践を統合していく。					
思考力・判断力・表現力		教育目標に基づいた教育計画や活動の目標を設定し、それを実現するための力。					
学びに向かう力		観察・参加実習を主とする実習を行い、幼児教育の理解を深める。					
授 業 の 概 要							
幼稚園にて3週間実習（責任実習）を行う。							
成 績 評 価 基 準							
実習態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。					課 題	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
適宜							
授業内容・授業計画							
1. 幼稚園での実習			時間数 20	時間数			
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
				科目コード		Y-SC32	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ホイクナイヨウソウロン 保育内容総論 S			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	20	1	鈴木 幸子		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		幼稚園教育要領及び保育所保育指針を踏まえて、保育園・幼稚園において展開される保育内容について、基本的な考え方を学ぶ。					
思考力・判断力・表現力		各領域が相互に関連していることを理解し、バランスの取れた保育を行うための基礎を築く。					
学びに向かう力		保育活動は、5 領域のねらいが総合されていることを理解し、保育の計画性・教材研究・環境構成について理解を深めていく。					
授 業 の 概 要							
幼稚園教育要領・保育所保育指針は必ず目を通しておき、5 領域についての予備知識をもつ。							
成 績 評 価 基 準							
小テスト・レポート課題、授業態度や発表、教材研究の製作物での評価					レポート	30%	
					課 題	30%	
					日常評価	40%	
使用テキスト・教材							
・ 幼稚園教育要領及び保育所保育指針 ・ 必要な資料をプリント ・ 幼稚園・保育園 ・ こども園の教育要領							
授業内容・授業計画							
1. どんな保育者になりたいか？自分の目標をもつ(レポート作成)			2	7. 保育の中での環境構成の工夫について			2
2. 幼稚園・保育園・認定子ども園の比較、それらの1日の保育の流れと保育形態			2	8. 保育に役立つ教材(導入に使うなど)作り			4
3. 子ども・子育て支援新制度について			2	の計画をし、制作する			
4. 幼稚園教育要領・保育所保育指針に基づく保育内容の理解			2				
5. 様々なあそびや活動と5領域の関連について			2				
6. 保育の生活の中での環境構成・援助と指導について学ぶ			2 4				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授業概要）				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SC33	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
ホイクジッシュウジゼンジゴンドウニ 保育実習事前事後指導 IIS			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	前期	必修	20	1	三枝 昌美		
授業の目的・目標（科目のねらい）							
知識・技能		実習の理念を理解し、保育者、社会人としての自覚を持つ。保育実習を円滑におこなうために、目的や課題が明確になるよう事前指導を行う。また、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。					
思考力・判断力・表現力		保育現場での具体的な行動計画を立て、目的意識を持って実習に臨むために、実習前に自分の目標を具体的に設定し、成長に向けた明確なビジョンを持つ力。					
学びに向かう力		保育実習を円滑におこなうために、目的や課題が明確になるよう事前指導を行う。また、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。					
授 業 の 概 要							
責任実習を円滑におこなうために、目的や課題が明確になるよう事前指導を行う。また、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。日頃の学習の集大成が実習である。失敗を恐れず、積極的に実習に臨めるよう授業を受け、事前準備をしっかりと行う。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計 60 点以上のものに単位を与える。					課 題	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
『新訂 幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド』 同文書院 他							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1. 観察実習の振り返り 実習課題の確認			4				
2. 責任実習とは			4				
3. 責任実習主活動について			4				
4. 実習日誌・部分実習案の書き方（振り返り）			4				
5. 保育実習に向けての準備			4				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SR01	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ケンコウカガク			講義	対面	こども保育科		
健康科学							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	15	1	望月 満美		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		健康と体力、およびスポーツについて学び、生活の基盤となる健康を自ら意識し増進していく知識と態度を養う。					
思考力・判断力・表現力		健康に関するデータやエビデンスを基に、科学的に正しい情報を判断する力。					
学びに向かう力		身体的・精神的な健康を維持・増進するための科学的知識を学び、健康に関する理論を実生活に活かし、より良い生活習慣や環境作りを実現する。					
授 業 の 概 要							
短大の教科書を参考にしながら、スポーツの歴史と現状、健康の概念の変遷と現代の健康問題、体力の概念とトレーニングについて、考えながら学習する。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、出席状況、ノート作成状況、学期末試験、夏休みレポート、授業内の小レポート等を総合して評価する。					筆記試験	40%	
					レポート	20%	
					課 題	20%	
					日常評価	20%	
使用テキスト・教材							
生涯スポーツ・健康科学(近畿大学九州短期大学)							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				
1. スポーツの概念			2				
2. 社会生活の変化とスポーツ			2				
3. スポーツ参加の現状と課題			2				
4. 国民スポーツ発展のために			2				
5. 健康の概念			2				
6. 体力の概念			2				
7. 運動不足の実態			1				
8. 生活におけるトレーニング			2				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授業概要）				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SR02	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
ニホンコクケンポウ 日本国憲法			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	2	堀 保彦		
授業の目的・目標（科目のねらい）							
知識・技能		憲法を体系的に修得するとともに、現代社会における憲法問題について自ら主体的に考察し、自分の考えを具体的に述べるができるようになる。					
思考力・判断力・表現力		社会のあり方を考える際の基盤となる思想を学ぶ。					
学びに向かう力		現代社会における法や権利のあり方を考える姿勢や、社会的な課題への主体的な取り組み方を身につける。					
授 業 の 概 要							
日本国憲法は、国民の自由と権利を守り、自由で公正な社会を築くことを目指す法です。本授業では、日本国憲法の国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の基本原則とそれを実現するための統治機構を概説し、私たちと憲法の関わりについて考えます。最終回の授業で現代社会における憲法の問題点についてプレゼンテーションをしていただきます。							
成 績 評 価 基 準							
毎回の授業で提示する課題への取り組み					筆記試験	40%	
期末試験					課 題	30%	
学習意欲					日常評価	30%	
3項目を総合した点数で評価する							
使用テキスト・教材							
教科書：『日本国憲法』下村孝（近畿大学九州短期大学通信教育部）							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 憲法とは何か			2	8. 法の下での平等			2
2. 明治憲法から日本国憲法へ			2	9. 精神的自由権			2
3. 天皇主権から国民主権へ			2	10. 表現の自由			2
4. 象徴天皇制・天皇の国事行為			2	11. 経済的自由権			2
5. 平和主義			2	12. 社会権			2
6. 基本的人権総論			2	13. 人身の自由、参政権			2
7. 幸福追求権			2	14. 統治機構の原理、議会制度・権力分立			2
				15. プレゼンテーション（現代社会における憲法の問題点について）			2
その他				関連科目			

シラバス（授業概要）				年 度	2025 年度
時間数は45分換算				科目コード	Y-SR03
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
ジョウホウショリニユウモンイチ 情報処理入門Ⅰ			講義	対面	こども保育科
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	15	1	横田 一輝
授 業 の 目 的 ・ 目 標（科目のねらい）					
知識・技能		コンピュータの発達過程やハードウェアの仕組みについて学ぶ。また、インターネットを活用し、最新技術や動向について学ぶ。			
思考力・判断力・表現力		情報処理の基本的な概念や用語を素早く理解し、実践に活かす力を身につける。			
学びに向かう力		コンピュータの基本的な使い方やデータ処理、プログラミングの基礎、デジタル社会での情報の扱い方を学び、情報の効果的な活用や問題解決能力を高め、現代社会でのデジタルリテラシーを強化する。			
授 業 の 概 要					
保育などの仕事の現場で情報処理に関する話題・用語が出た場合に、その話の内容を理解し自分なりに判断できるレベルの知識を習得する。さらに、IT化の社会問題、健康問題を取り上げる。					
成 績 評 価 基 準					
学期末試験の成績で評価する。					筆記試験 50% 日常評価 50%
使用テキスト・教材					
「情報処理入門」近畿大学九州短期大学通信教育部					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. 情報処理の基礎			2	1	
1－1. 情報とは			2		
1－2. データの表現方法			2		
2. コンピュータシステム			4		
2－1. コンピュータの歴史			4		
2－2. コンピュータの5大装置			4		
3. ソフトウェア			4		
3－1. 基本ソフトウェア			4		
3－2. 応用ソフトウェア			4		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SR04	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
コドモカテイフクシ			講義	対面	こども保育科		
子ども家庭福祉							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	30	2	工藤 豪		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		子ども家庭福祉に関する基本的知識を身につけるとともに、現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解する。					
思考力・判断力・表現力		児童福祉法や児童の権利条約を理解し、子どもの人権が守られる環境を考える。					
学びに向かう力		児童虐待などに関する特徴や施策の展開、さらに少子化に対応する形で整備されてきた保育サービスや子育て支援の動向について学びながら、現代社会における児童家庭福祉の動向を把握できるようにする。					
授 業 の 概 要							
児童福祉の定義と理念、法的整備を中心とした歴史的変遷、児童虐待などに関する特徴や施策の展開、さらに少子化に対応する形で整備されてきた保育サービスや子育て支援の動向について学びながら、現代社会における子ども家庭福祉の動向を把握していく。							
成 績 評 価 基 準							
成績は、試験と平常点を総合的に勘案して評価する。 講義終了時（課題未提出や欠席過多によるレポートの未提出がある場合、試験受験資格は得られない）					筆記試験	50%	
					課 題	25%	
					日常評価	25%	
使用テキスト・教材							
『新・子ども家庭福祉[第2版]』（2024、浦田雅夫編著、教育情報出版）							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
1. 児童福祉の定義と理念			2	8. 少子化とベビーブーム1990年代における子育て支援の展開			2
2. 児童福祉から子ども家庭福祉への変化・転換			2	10. 2000年以降における子育て支援の展開			2
3. 親権と子ども			2	11. 児童虐待の実態と近年における特徴			2
4. キーワードからみる子ども観 （1）捨て子・堕胎・赤ちゃんポスト			2	12. 児童虐待に関する制度的対応			2
5. キーワードからみる子ども観 （2）愛着理論・3歳児神話			2	13. 子育てに関する経済的支援			2
6. 戦前における児童福祉の展開			2	14. 子育て支援サービスと子育て環境			2
7. 戦後における児童福祉の展開			2	15. 子どもの存在と母子保健に関する動向			2
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SR05	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
シャカイフクシ			講義	対面	こども保育科		
社会福祉							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	2	工藤 豪		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		社会福祉に関する基本的知識を身につけるとともに、わが国の社会保障における仕組みや特質を理解すること。					
思考力・判断力・表現力		個人や社会の多様な課題に対応するための知識、実践力、倫理的な力を身につける。					
学びに向かう力		すべての人が安心して暮らせる社会を実現するための制度や支援について学ぶ。					
授 業 の 概 要							
社会福祉に関わる法律や制度の展開、また、社会福祉に影響を与える人口高齢化の推移や特徴を踏まえて、わが国の社会保障における仕組みを理解し、社会保険と社会扶助の差異や、各保険・手当における特質や近年の動向を把握していく。							
成 績 評 価 基 準							
成績は、試験と平常点を総合的に勘案して評価する。講義終了時（課題未提出や欠席過多によるレポートの未提出がある場合、受験資格は得られない）					筆記試験	50%	
					課 題	25%	
					日常評価	25%	
使用テキスト・教材							
鬼崎信好・本郷秀和編、2023、『コメディカルのための社会福祉概論 第5版』講談社							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 社会福祉の歴史と展開（1）―戦前の日本―			2	8. 社会保障と社会福祉（1）			2
2. 社会福祉の歴史と展開（2）―戦後の日本―			2	―社会保障制度の体系―			
3. 社会福祉の歴史と展開（3）―近年の日本―			2	9. 社会保障と社会福祉（2）―医療保険①―			2
4. 人口高齢化の動向（1）			2	10. 社会保障と社会福祉（3）―医療保険②―			2
―世界と日本の人口動向―				11. 社会保障と社会福祉（4）―介護保険①―			2
5. 人口高齢化の動向（2）			2	12. 社会保障と社会福祉（5）―介護保険②―			2
―人口高齢化の国際比較―				13. 社会保障と社会福祉（6）―年金保険①―			2
6. 人口高齢化の動向（3）			2	14. 社会保障と社会福祉（7）―年金保険②―			2
―長寿化による社会的影響―				15. 社会保障と社会福祉（8）―生活保護―			2
7. 人口高齢化の動向（4）			2				
―人口移動と老年人口割合の地域差―							
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	Y-SR06
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
キョウイクゲンリ 教育原理			講義	対面	こども保育科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	2	鈴木 幸子	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		教育の本質と意義について基礎知識を知り、幅広くかつ原理的に学んでいく。教育に関する基本的な概念と知識の習得を図る。				
思考力・判断力・表現力		教育の基本理念や、教育が果たすべき社会的役割を理解する力。				
学びに向かう力		教育の本質や役割、さらには現代教育の課題に対する対応力を養う。				
授 業 の 概 要						
意欲的に授業に参加し、現代の幼児教育について、根源的に考える。						
成 績 評 価 基 準						
学習状況（出席含む）20%、レポート50%、最終レポート30%					レポート	30%
					課 題	50%
					日常評価	20%
使用テキスト・教材						
汐見稔幸他編集『よくわかる教育原理』（ミネルヴァ書房）						
授業内容・授業計画						
			時間数	時間数		
1. オリエンテーションー授業の概要			2	11. 保護者への支援と学校		
2. 子どもとは			2	12. 地域における学校		
3. 発達とは1ー発達の適時性			2	13. 教育の歴史（日本、世界）		
4. 発達とは2ー発達不全			2	14. 改めて教育とは		
5. 教育とは一人間形成、成長、発達			2	15.まとめ		
6. 教育の目的、内容、方法、計画1			2			
7. 教育の目的、内容、方法、計画2			2			
8. 教育を支える仕組みー制度・法律・行政			2			
9. 子どもへの支援と学校			2			
10. 教師とは			2			
その他				関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	Y-SR07
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
ホイクゲンリ ----- 保育原理			講義	対面	こども保育科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	2	三枝 昌美	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		保育の歴史や現状をふまえ、保育の基本を学ぶ。				
思考力・判断力・表現力		子どもの発達や福祉に関する基本理念を理解し、保育の目的や価値を考える力。				
学びに向かう力		保育の基本的な理念や目的、子どもを取り巻く環境についての理解を深め、保育士としての役割や保育の在り方を探求する。				
授 業 の 概 要						
保育の基本となる諸法令や実際に保育の考え方などを学ぶ。また、保育の歴史を捉えたうえで、現在求められている子育て支援について理解を深め、保育者の役割を考えていく。						
成 績 評 価 基 準						
出席状況・学習態度・レポート・試験の総合評価とします。 (評価は、授業への取り組みも重視する為、試験だけができてでも不可になる場合もあります。また、授業への取り組みは非常によくても、レポートや試験が全くできなければ不可になる場合もあります。)					筆記試験	25%
					レポート	25%
					課 題	25%
					日常評価	25%
使用テキスト・教材						
「保育原理」 近畿大学九州短期大学通信教育部 保育所保育指針解説 他授業内で提示						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 保育の方向性と保育実践の基礎となる発達観			2			
2. 保育に関する諸法令			2			
3. 保育指針・教育要領にみる保育原理			2			
4. 養護と教育の一体化について			2			
5. 保育実践の基本構造			2			
6. 多様な保育内容とその方法			2			
7. 子育て支援について			2			
8. 保育の歴史			8			
9. これからの保育			4			
10. まとめ			4			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SR08	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ヨウジノシンリガク ----- 幼児の心理学			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	15	1	鈴木 幸子		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		心理学の具体的な内容を学ぶことで、心理学が保育とどのように関係しているかを学ぶ。					
思考力・判断力・表現力		幼児の発達段階（乳児期、幼児期）を理解する力。					
学びに向かう力		幼児の心の成長や発達のメカニズムを理解し、子ども一人ひとりに適切な関わりを行うため、子どもの心理的な発達に寄り添うための知識やスキルを深める。					
授 業 の 概 要							
子どもの学習行動の概念を学び、筋道を立てて考える思考の形成、勉強の仕方、学習に対する意欲・自発性・態度を肯定する価値観を軸にして、幼児の心理学について学ぶ。							
成 績 評 価 基 準							
出席率、授業態度、試験の結果を総合的に判断し評価する。						筆記試験	50%
						日常評価	50%
使用テキスト・教材							
授業内で提示							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 自己紹介 授業の進め方と説明			2				
2. 組全員の質問							
3. 第1章 第2章 保育と教育心理学			4				
4. 第3章 第4章 子どもの発達			4				
5. 第5章 第6章 学びの動機づけ			4				
6. 第7章 第8章 保育における評価			4				
7. 第9章 発達障害のある子どもの			4				
教育保育			4				
8. 第10章 保育の中で生かす教育心理学			4				
9. まとめ							
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SR09	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ゾウケイヒョウゲン (ショドウホウ)			演習	対面	こども保育科		
造形表現(指導法)							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	15	1	望月 裕史		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		保育での表現活動を円滑にするために欠くことのできない適格な掲示物づくりや、児童の表現活動等における指導力を身につける。					
思考力・判断力・表現力		素材や技法を自由に使いこなし、個性豊かな造形表現を生み出す。					
学びに向かう力		モダンテックを中心とした作品制作をとおして基礎を身に付け、個々の表現力を伸ばしていく。					
授 業 の 概 要							
授業は準備から大切になる。忘れ物をせず授業に臨み、指導者の模範制作を見て理解することから授業は始まる。集中力のある制作、個性の発揮等を大切にし、最後まであきらめずに仕上げ、確実に提出することが重要である。							
成 績 評 価 基 準							
作品の完成度や授業への意欲、持ち物などを中心に広く総合的に評価し決定する。なお作品が1つでも未提出であれば成績の評価は行われない。					課 題	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
・ 造形表現 (指導法) ・ 絵具を中心とした画材							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. オリエンテーション			2	6. 8. 2-3. パチック			2
① 授業のきまり				7. 2-4. スクラッチ			1
② 内容 ③ 評価について				8. 2-5. スパッタリング			1
2. デッサン			2	9. 2-6. たたきぼかし			1
①画鉛筆で各自持参した野菜など自然物を描く。毎回継続してデッサンを行う(6回)				10. 2-7. デカルコマニー			1
3. 色の学習を学びながらモダンテクニックの実習、作品作り			1				
4. 2-1. スタンピング			2				
5. 2-2. ドリッピング			2				
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。							

				年 度	2025 年度
シラバス (授 業 概 要)		時間数は4 5分換算		科目コード	Y-SR10
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
ホイクノシンリガク 保育の心理学			講義	対面	こども保育科
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	2	鈴木 幸子
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)					
知識・技能		保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。			
思考力・判断力・表現力		子どもの年齢や個性に応じた心の発達を理解する力。			
学びに向かう力		子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。			
授 業 の 概 要					
乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。					
成 績 評 価 基 準					
筆記試験 40%、課題の内容 50%、積極的参加態度 10%					筆記試験 40% 課 題 50% 日常評価 10%
使用テキスト・教材					
近畿大学短期大学部指定、その他授業内で紹介する					
授業内容・授業計画					
			時間数	時間数	
1. 発達を捉える視点			2	9. 言語の発達	
2. 子どもの発達を理解することの意義			2	10. 子どもの学びと保育	
3. 子どもの発達と環境			2	11. 乳幼児期の学びに関わる理論	
4. 発達理論と子どもの観・保育観			2	12. 乳幼児期の学びの過程と特性	
5. 子どもの発達過程			2	13. 乳幼児期の学びを支える保育	
6. 社会情動的発達			2	14. まとめ	
7. 身体的機能と運動機能の発達			2		
8. 認知の発達			2		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
				科目コード		Y-SR11	
時間数は4 5分換算							
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
セイネンシンリガク			講義	対面	こども保育科		
青年心理学							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	30	1	後藤 充代		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		自分が置かれている青年期の特徴を良く理解し、生活に生かす。					
思考力・判断力・表現力		自己表現や新しい価値観の模索を行う青年に対して、サポートする環境を整える。					
学びに向かう力		心理的発達や課題を理解し、適切なサポートや支援を行うために、青年特有の心理的な成長や変化を捉え、適切に対応する力を身につける					
授 業 の 概 要							
グループワークを通して、仲間相互のコミュニケーションを深める人間関係を学び、4月からの社会人としても生活に期待を持つ。							
成 績 評 価 基 準							
出席日数、授業態度、試験の結果を総合的に判断する。					筆記試験	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
授業内で紹介する							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 自己紹介 授業の進め方の説明			2				
2. 組全員の質問			2				
3. 序章 青年期を理解する			4				
4. 第1部 青年期の自我発達と恋愛			4				
5. 第2部 青年期の人間関係			2				
6. 第3部 青年と社会			4				
7. 終章 自我発達から見た成人期と老年期			4				
8. 選択理論心理学			4				
まとめ			2				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SR12	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
コドモカテイシエンノシンリガク 子ども家庭支援の心理学			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	30	2	工藤 豪		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。					
思考力・判断力・表現力		子どもの発達段階に応じた心理的ニーズを理解する力。					
学びに向かう力		家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。					
授 業 の 概 要							
厚生労働省の子ども家庭局より示された四つの目標、「1. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する」、「2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する」、「3. 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する」、「4. 子どもの精神保健とその課題について理解する」について学習する。							
成 績 評 価 基 準							
成績は、試験と平常点を総合的に勘案して評価する。					筆記試験	50%	
					課 題	25%	
					日常評価	25%	
使用テキスト・教材							
大倉得史・新川泰弘編著、2020、『子ども家庭支援の心理学入門』ミネルヴァ書房							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
1. 少子化の推移と実態			2	10. 青年期以降の発達の特徴と課題			2
2. 少子化対策としての若者の結婚支援			2	11. 特別な配慮を必要とする子どもと			2
3. 女性のライフコースの実態と特徴			2	家庭の理解			
4. 仕事と子育ての両立に関する問題			2	12. 発達支援が必要な子どもと家庭の			2
5. 家族・家庭の意義と機能			2	理解と援助			
6. 家族理解のための有効なツール・技法			2	13. 子どもの生活環境・生育環境			2
7. 親子関係・家族関係における発達の理論			2	14. 子どもの心の健康問題と子ども家庭			2
8. 乳幼児期の子どもの発達と家庭			2	支援			
9. 児童期の子どもの発達と家庭			2	15. 子ども家庭支援をめぐる社会的状況			2
				と課題			
その他				関 連 科 目			
※単元ごと演習課題を実施する。							

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SR13	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
コドモカティシエンロン			講義	対面	こども保育科		
子ども家庭支援論							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	2	工藤 豪		
授 業 の 目 的 ・ 目 標（科目のねらい）							
知識・技能		子どもと家族に関する基本的知識を身につけるとともに、わが国の抱える特徴や課題について理解を深める。					
思考力・判断力・表現力		子どもや家庭が抱える心理的、社会的、経済的な課題を正確に把握する力。					
学びに向かう力		さまざまな家庭支援のあり方について学びながら、現代社会における家庭支援の動向を把握していく。					
授 業 の 概 要							
現代日本の家族における特徴、家庭支援に関わる法律や制度、子どもと家庭を支える機関や組織、子どもと家族を支援するサービスの実態など、これらについての把握を踏まえて、さまざまな家庭支援のあり方について学びながら、現代社会における家庭支援の動向を把握していく。							
成 績 評 価 基 準							
成績は試験と平常点を総合的に勘案して評価する。 ※短大レポート、科目終末試験該当科目					筆記試験	50%	
					課 題	25%	
					日常評価	25%	
使用テキスト・教材							
渡邊 暁ほか編著、2024、『実践で役立つ 子ども家庭支援論』ミネルヴァ書房 『よくわかる家庭支援論 第2版』（2015 橋本真紀・山縣文治編 ミネルヴァ書房）							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 家庭支援の意義と求められる背景			2	10. 子どもと家族を支援するサービス・専門機関・地域活動			2
2. 家族と世帯			2	11. 保育所と幼稚園における家庭支援と在宅子育て家庭への支援			2
3. 認識レベルの家族			2	12. 子どもを産み育てるライフコースとその障壁			2
4. 実態レベルの家族			2	13. さまざまな子育て家庭への支援			2
5. 現代社会における家族の機能			2	14. 家庭支援の展開過程と家庭への個別的な支援			2
6. 時代の推移に伴う子育て環境の変容			2				
7. 親になるプロセス			2				
8. 乳幼児期の子どもと家庭			2				
9. 家庭支援に関わる法・制度と保育士の役割			2				
			2				
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SR14	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ヨウジヘノトクベツナシエン ----- 幼児への特別な支援			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	15	1	工藤 豪		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		インクルーシブ教育を含む特別支援教育に関する理念や制度の仕組みを理解する。					
思考力・判断力・表現力		発達障害、言語遅滞、情緒障害など、さまざまな特性を持つ幼児の個性やニーズを理解する力。					
学びに向かう力		特別の支援を必要とする幼児の心身の発達と心理的特性及び学習の過程を理解する。					
授 業 の 概 要							
視覚障がい、聴覚障がい、言語障がい、学習障がい、知的障がい、自閉症スペクトラム障がい、注意欠如・多動性障がいなどをもつ児童の特徴と保育における留意点について理解する。さらに、貧困・外国籍・性的マイノリティの児童に対してどのような支援が求められるのかについて考察していく。							
成 績 評 価 基 準							
成績は、確認作業の結果と平常点を総合的に勘案して評価する。					確認作業	50%	
					課 題	25%	
					日常評価	25%	
使用テキスト・教材							
尾崎康子ほか編、2018、『よくわかる障害児保育 第2版』ミネルヴァ書房							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
1. 視覚障がいおよび聴覚障がいにおける特徴と保育での留意点			2	6. 注意欠如・多動性障がいにおける特徴と保育での留意点			2
2. 言語障がいにおける特徴と保育での留意点			2	7. 貧困・外国籍・性的マイノリティの児童への支援			2
3. 学習障がいにおける特徴と保育での留意点			2	8. 総括と確認作業			2
4. 知的障がいにおける特徴と保育での留意点			2				
5. 自閉症スペクトラム障がいにおける特徴と保育での留意点			2				
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。							

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SR15	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ヨウジトコトバ			演 習	対 面	こども保育科		
幼児と言葉							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	15	1	三枝 昌美		
授業の目的・目標（科目のねらい）							
知識・技能		領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために専門的事項に関する知識を身に付ける。					
思考力・判断力・表現力		幼児の年齢に応じた言葉の発達段階を理解し、適切なサポートを行う力。					
学びに向かう力		幼児の言葉の発達を理解し、適切な支援や環境を整えることで、幼児が自分の考えや感情を豊かに表現できるようにする力を身につける。					
授 業 の 概 要							
「言葉」の基本的な知識を習得する。その中で言葉遊びなどの言葉の感覚を豊かにする実践や、児童文化財（絵本・物語・紙芝居等）について、基礎的な知識を身に付ける。最終的に人間にとっての話し言葉や書き言葉などの言葉の意義と機能について、説明できるようになってほしい							
成 績 評 価 基 準							
期末試験（50%）、課題（30%）、授業態度（20%）					筆記試験	50%	
					課 題	30%	
					日常評価	20%	
使用テキスト・教材							
近畿大学短期大学部指定、その他授業内で紹介する							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1. 言葉の意義や機能			2				
2. 言葉の意義や機能			2				
3. 絵本を生かした保育と絵本紹介 お話作り			2				
4. 幼児における児童文化財の意義			2				
5. 子どもの言葉と表現力			2				
6. 読み聞かせの意義と魅力、実践による工夫			4				
言葉の発達と表現力			1				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SR16	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ヨウジトカンキョウ ----- 幼児と環境			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	15	1	三枝 昌美		
授業の目的・目標 (科目のねらい)							
知識・技能		幼児教育の基本及び領域「環境」のねらいと内容を理解する。					
思考力・判断力・表現力		自然や生活環境の変化に気づき、細かい部分まで観察する力を育てる。					
学びに向かう力		「環境とかかわる力」の発達について理解し、子どもの育ちにとって大切にされているものを学ぶ。					
授 業 の 概 要							
幼児教育の基本及び領域「環境」のねらいと内容を理解する。「環境とかかわる力」の発達について理解し、子どもの育ちにとって大切にされているものを学ぶ。							
成 績 評 価 基 準							
期末試験 (50%)、課題 (30%)、授業態度 (20%)					筆記試験	50%	
					課 題	30%	
					日常評価	20%	
使用テキスト・教材							
近畿大学短期大学部指定、その他授業内で紹介する							
授業内容・授業計画							
			時間数	時間数			
1. 保育の基本と保育内容			1				
2. 領域「環境」のねらいと内容			2				
3. 「環境とかかわる力」への発達、理解			2				
4. 領域「環境」と保育方法			2				
5. 領域「環境」の変遷			2				
6. 領域「環境」と保育の実際Ⅰ (自然・身近な物の発達と表現力)			2				
7. 領域「環境」と保育の実際Ⅱ (文字・数量・地域社会)			2				
領域「環境」と実践上の留意点 (自然・身近な物・文字・数量)			2				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授業概要）				年 度	2025 年度
時間数は45分換算				科目コード	Y-SR17
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ヨウジトニンゲンカンケイ ----- 幼児と人間関係			講義	対面	こども保育科
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	15	1	長谷川 智子
授業の目的・目標（科目のねらい）					
知識・技能		幼稚園教育要領の中の「人間関係」の分野に焦点を当て、理解を深める。			
思考力・判断力・表現力		自分の性格や感情、コミュニケーションの癖を理解し、他者との関わり方を見直す力を身につける。			
学びに向かう力		子どもは生活や遊びの場面で、関わりながら育っている。保育者を志す者として、乳幼児期の発達を見る視点、子どもが人と結び合い豊かに関わること、保育者としての対応を学ぶ。			
授 業 の 概 要					
領域「人間関係」に関する知識を得、子ども個人の成長と、仲間集団の成長との双方に配慮しながら、具体的な指導を行う実践力の基礎を培う。					
成 績 評 価 基 準					
期末試験（50%）、授業態度（50%）					筆記試験 % レポート % 課 題 50% 日常評価 50%
使用テキスト・教材					
・文部科学省「幼稚園教育要領」 ・内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 ・厚生労働省「保育所保育指針」 その他授業内で紹介する					
授業内容・授業計画					
1. 人間関係とは 自己紹介 授業の進め方 2. 自己理解と自己概念 3. 社会、文化の中に生きる子どもたち 4. 領域「人間関係」がめざすもの 5. 領域「人間関係」の基礎知識 6. 領域「人間関係」の基礎知識 愛着について 7. 親の育て方について 8. 人の中で育つ自我について			時間数 1 1 1 2 2 1 1	9. 人の中で育つ優越感と劣等感について 10. 社会性の発達と遊びについて 11. 「道徳性の芽生え」をいかに育むか 12. 向社会的行動と規範意識 13. 0. 1. 2歳児、乳児の保育所における人との関わり 14. 3. 4. 5歳児のエピソードをまとめる 15. 3. 4. 5歳のエピソードまとめ、発表	
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SR18	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
ジドウブンカ 児童文化			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	15	1	三枝 昌美		
授業の目的・目標 (科目のねらい)							
知識・技能		児童文化の具体的な内容をおさえ、特に、子どもの遊びとおもちゃの重要性を理解する。					
思考力・判断力・表現力		伝承遊びやわらべ歌などの集団活動を通じて、他者との協調性や社会的スキルを学ぶ。					
学びに向かう力		児童文化の分野に実際に触れ、試したり、繰り返したりすることにより、実践にいかされた指導ができるようになること。					
授 業 の 概 要							
子どもの遊びに児童文化財は欠かせないものなのである。教材の準備や工夫した製作も大切であるが、最終的には、それをどう利用し、活用していけるかを考える。							
成 績 評 価 基 準							
・ 課題を出した時の提出物で評価					筆記試験	%	
・ 授業内での簡単な発表(手遊び・読み聞かせなど)や製作物での評価					レポート	%	
					課 題	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
・ 文部科学省「幼稚園教育要領」							
・ 内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」							
・ 厚生労働省「保育所保育指針」 その他授業内で紹介する							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 自己紹介、おもちゃを通した自分史作りをし、発表をする			1	6. 伝承あそびについて学ぶ			1
			1	7. 伝承遊びを体験する(遊び方を考察し、レポート作成)			2
2. 児童文化とは何か具体的に考える			1				1
3. 紙一枚でできる簡単絵本作りと発表をする			2	まとめ			1
			2				
4. からくりおもちゃ作りをする			1				
5. 牛乳パックや身近な素材でできるおもちゃ作りをする			1				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SR19	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
コドモノホケン ----- 子どもの保健			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	30	2	望月 満美		
授業の目的・目標 (科目のねらい)							
知識・技能		子どもの心身の自然で正常な発達の姿を理解し、それに基づいて子どもの心身の健全な育成の仕方を学習する。					
思考力・判断力・表現力		子どもの年齢や発達段階に応じた身体的な成長を理解する力。					
学びに向かう力		幼児期の健康や成長、病気の予防についての理解を深め、子どもの健やかな発育を支えるための知識と実践力を身につける。					
授 業 の 概 要							
運動機能や精神機能の発達、精神保健について学習する。これからかわっていく子どもたちを実際にイメージしながら、グループで話し合ったりPCを使って調べたりしてより学習を深めていく。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、出席状況、ノート作成状況、授業内の小テスト等を総合して評価する。						課 題	50%
						日常評価	50%
使用テキスト・教材							
よくわかる 子どもの保健 第3版 竹内義博・大矢紀昭編 (ミネルヴァ書房)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 生理機能の発達と保健 排泄、睡眠、感覚器官、免疫			2	4. 子どもの精神保健 精神保健とは			1
2. 運動機能の発達と保健 新生児、乳児、幼児、 学童期以降			4 2	子どもの心身の健康と心身症 生活習慣や行動上の問題 発達障害			2 2
3. 精神機能の発達と保健 言語、社会性、情緒の発達 発達を評価する 発達に影響する要因			6 1 1	慢性疾患 育児環境 母親のメンタルヘルス 虐待とトラウマ 地域精神保健活動			1 2 1 2 1
1.							
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授業概要）				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SR20	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
コドモノショクトエイヨウイチ 子どもの食と栄養Ⅰ			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	15	1	吉川 直美		
授業の目的・目標（科目のねらい）							
知識・技能		小児の発育・発達特性、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食（保育所給食）、食教育の重要性を理解すること。					
思考力・判断力・表現力		食材の種類や栄養素の働きを理解し、バランスの取れた食事の大切さを知る。					
学びに向かう力		保育者として小児に適切な食事を提供することができるよう、各時期の栄養法を理解し、調理技能の修得を目指す。					
授 業 の 概 要							
子どもの食生活は、子どものみならず、家族や地域住民の健康や生活と密接な関係を持つ。理論を基にした食事展開、援助、食育の具体的な実践力を養うことを目指す。							
成 績 評 価 基 準							
試験 80% 授業態度 20%					筆記試験	80%	
					日常評価	20%	
使用テキスト・教材							
子どもの食と栄養 二見大介・高野 陽 編著 北大路書房							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. オリエンテーション			1				
2. 子どもの健康と食生活の意義			2				
3. 栄養に関する基本的知識			2				
4. 食事摂取基準・バランスのよい食事			2				
5. 妊婦・授乳婦の栄養ケア・マネジメント			2				
6. 離乳の意義とその実践			2				
7. 幼児期の心身の発達と食生活			2				
6. 8. 食育の基本と内容・方法							
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算				科目コード	Y-SR21
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
シャカイテキョウゴイチ 社会的養護 I			講義	対面	こども保育科
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	工藤 豪
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能		現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。			
思考力・判断力・表現力		社会的養護の目的や制度の背景を理解し、子どもたちの権利を尊重する力。			
学びに向かう力		子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本や制度、実施体系等について理解を深める。			
授 業 の 概 要					
社会的養護の意義や必要性、社会的養護の歴史や支える理論、社会的養護の制度や体系、子どもの権利・人権擁護を踏まえた社会的養護のあり方、社会的養護の対象や形態、社会的養護の現状や課題について理解を深めるとともに、後半では施設養護に焦点をあてて講義する。					
成 績 評 価 基 準					
成績は、指定試験の結果と平常点を総合的に勘案して評価する。 講義終了時 (課題未提出や欠席過多によるレポートの未提出がある場合、試験受験資格は得られない) ※短大レポート、科目終末試験科目					筆記試験 課 題 日常評価 50% 25% 25%
使用テキスト・教材					
伊藤嘉余子・福田公教編著、『MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉5 社会的養護』ミネルヴァ書房					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 社会的養護の動向と児童養護施設の現状			2	10. 社会的養護の実施体制	
2. 社会的養護で暮らす子ども			2	11. 社会的養護の枠組み	
3. 社会的養護の再編			2	12. 施設養護に関する動向	
4. 社会的養護を支える理論			2	13. 施設養護の専門職	
5. 社会的養護の必要性			2	14. 施設養護の実際	
6. 子どもを生み育てること			2	15. 講義のまとめ	
7. 社会的養護の歴史 (1) 古代から大正期まで			2		
8. 社会的養護の歴史 (2) 昭和期から現代まで			2		
9. 近年における社会的養護の課題			2		
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SR22	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ニュウジホイクイチ			講義	対面	こども保育科		
乳児保育 I							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	2	三枝 昌美		
授業の目的・目標 (科目のねらい)							
知識・技能		3 歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。					
思考力・判断力・表現力		乳児の成長や発達を支えるために、愛情を持って寄り添い、柔軟に対応するために、観察力や対応力、保護者との信頼関係など、多くのスキルを身につけ、乳児の心身の発達を支援し、将来の自立に向けた大切な基盤を作る。					
学びに向かう力		養護及び教育の一体性を踏まえ、3 歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。					
授 業 の 概 要							
乳児保育は、一番かわいい盛りである時期の子どもを保護者とともに保育できる魅力のある仕事である。しかしながら、基本的な生活習慣を身につけるなど、重要な時期でもある。実習を通して、実際に子どもの世話をし、遊び、触れ合う中でさらに学びを深めて欲しい。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、課題、科目終末試験を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。					筆記試験	40%	
					課 題	30%	
					日常評価	30%	
使用テキスト・教材							
近畿大学短期大学部指定、その他授業内で紹介する							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 乳児保育の意義・目的、役割と機能			2	10. 3 歳未満児の発育・発達を踏まえ			2
2. 乳児保育における養護及び教育			2	た保育士等による援助やかかわり			
3. 子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題			2	11. 3 歳未満児の発育・発達を踏まえ			2
4. 保育所における乳児保育			2	た保育における配慮			
5. 保育所以外の児童福祉施設 (乳児院等) における乳児保育			2	12. 乳児保育における計画・記録・評価とその意義			2
6. 家庭的保育等における乳児保育			2	13. 職員間の連携・協働			2
7. 3 歳未満児とその家庭を取り巻く環境と子育て支援の場			2	14. 保護者との連携・協働			2
8. 3 歳未満児の生活・遊びと環境			2	15. 自治体や地域の関係機関等との連携・協働			2
9. 3 歳以上児の保育に移行する時期の保育			2				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SR23	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
キョウイクカテイソウロン 教育課程総論			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	2	鈴木 幸子		
授業の目的・目標 (科目のねらい)							
知識・技能		将来保育に関する専門職に就こうとする一人ひとりの者が、他からの借り物の計画に頼るのではなく、自分の担当する子ども達の実態に即して、自主的に教育計画を編成することができるようになるために必要な基本的な力を養う。					
思考力・判断力・表現力		保育施設の教育目標や教育課程の意義・目的を深く理解する力。					
学びに向かう力		教育目標の設定、学びの評価方法、社会的背景を考慮した教育計画など、多面的な観点から子どもの教育を構築する力を養う。					
授 業 の 概 要							
保育の計画は、実際の子どもの姿や学生自身の子どもに対する願い等が根底にある。そのため、具体的な子どもや活動、学生自身の子ども期の体験等をイメージしながら学習する。							
成 績 評 価 基 準							
筆記試験 40%、課題の内容 50%、授業への積極的参加態度 10%						筆記試験	40%
						課 題	50%
						日常評価	10%
使用テキスト・教材							
近畿大学短期大学部指定、その他授業内で紹介する							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 保育の全体計画の概要			2	8. 指導計画の作成			2
2. 保育の全体計画の意義			2	9. 幼稚園における教育課程の実際			2
3. 保育の計画と保育内容の変遷			2	10.. 保育園における教育課程の実際			2
4. 教育・保育要領 1 章における保育の計画			2	11. 保育の全体計画の編成の実際			2
5. 教育・保育要領 3 章における保育の計画			2	12. 保育の全体計画の作成 保育目標			
6. 保育の全体計画と指導計画			2	13. 保育の全体計画の作成 各学年の計画			2
7. 指導計画の実際			2	14. 保育の全体計画の作成 まとめ			2
				15. 保育の計画発表			2
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算				科目コード	Y-SR24
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
キョウイクホウホウロン ----- 教育方法論			講義	対面	こども保育科
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	三枝 昌美
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能		この授業では、幼児教育の方法や技術に関する基礎理論を理解する。現在の幼稚園教育に関する基本的な考え方や子ども理解に必要な基礎的事項を学び、保育者の卵としてどのような願いを持ち、一人一人の乳児・幼児の育ちをどのように指導・援助していくことができるか方法を考え、実践する態度を育成する。			
思考力・判断力・表現力		さまざまな教育理論や教授法（直接教授法、協働学習、体験学習など）を理解し、場面に応じて使い分ける力。			
学びに向かう力		現在の幼稚園教育に関する基本的な考え方や子ども理解に必要な基礎的事項を学び、保育者の卵としてどのような願いを持ち、一人一人の乳児・幼児の育ちをどのように指導・援助していくことができるか方法を考え、実践する態度を育成する			
授 業 の 概 要					
この授業では、幼児教育の方法や技術に関する基礎理論を理解する。これからの幼児教育に求められる保育の指導・援助方法を考え、自分自身どのような保育者になりたいのか考えながら学習してほしい。					
成 績 評 価 基 準					
授業態度、課題の提出状況、定期試験を総合評価し、合計6 0点以上のものに単位を与える。				筆記試験	40%
				課 題	30%
				日常評価	30%
使用テキスト・教材					
近畿大学短期大学指定教科書、その他は授業内で紹介する					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション			2	9. 小学校との連携	
2. 保育という方法			2	10. 家庭や地域と連携した保育	
3. 環境を通しての教育			2	11. 保育におけるカウンセリングマインド	
4. 遊びを通しての指導			2	12. まとめ	
5. 主体的な生活を基盤とする保育			2		
6. 遊びの中の学びをはぐくむ保育			4		
7. さまざまな保育形態			4		
8. 保育における評価			4		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	Y-SR25
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
キョウシヨクガイロン ----- 教職概論			講義	対面	こども保育科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	2	望月 満美	
授業の目的・目標 (科目のねらい)						
知識・技能		教育とは何か。教師とはどういう仕事か。教師の歴史から指導方法や指導技術、またその考え方などについて理解しながら、どのような教師になりたいのか、理想とする教師像を自分で考えイメージできるようにする。				
思考力・判断力・表現力		教育に関する理論や概念を理解しそれを実際に現場でどう適用するか考えたり、保育現場に出た時保護者と円滑なコミュニケーションを図る為の力などを養う。				
学びに向かう力		授業に積極的に参加し、意教育に対し興味を抱き探求する姿勢が見られる。				
授 業 の 概 要						
基本的に教科書に沿って教育や教師について学習しながら、自分の教師としてのイメージを育て、そして教師になる自覚を確立していく。また、授業を通して学習した知識や、自分の考えを自分の言葉で表現する小テストを数時間に一度行う。						
成 績 評 価 基 準						
授業態度、出席状況、ノート作成状況、授業内の小テスト等を総合して評価する。					小テスト	40%
					ノート	20%
					授業態度	20%
					出席状況	20%
使用テキスト・教材						
新訂 教職入門 未来の教師に向けて 古橋和夫編 (萌文書林)						
授業内容・授業計画						
			時間数	時間数		
1. 教育とは何か			4			
2. 教職とは何か			4			
3. 日本における教師の歴史			8			
4. 現代社会の子ども			5			
5. 学校を支える人々と仕事			5			
6. 教師をめぐる新しい動き			1			
7. 教師を巡る法律			1			
8. 教育改革とこれからの教師			1			
9. 教育の専門性と研修			1			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SR26	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
キョウイクソウダン 教育相談			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	30	2	長谷川 智子		
授業の目的・目標（科目のねらい）							
知識・技能		子どもの世界や保育士の役割に対する理解を深めることを通して、子どもや家族への支援スキルの基本を学ぶことを目標とする。教育に関する保護者の諸相談について、深く理解すると同時に、対応のあり方を実践的に考える。					
思考力・判断力・表現力		なぜ保護者が悩んでいるのか、相手の対場になり考えられるようになる。さまざまなケースに対応するためのスキルを付ける。寄り添うことの大切さや温かさが伝わるような表現力を養う。					
学びに向かう力		相手を理解することの大切さや背景を知ろうとすることなど、保護者に寄り添うために必要なことを自ら学ぼうとする。					
授 業 の 概 要							
保育者の立場に立ち、保護者の気持ちに寄りそう姿勢をもつ。							
成 績 評 価 基 準							
学習状況（出席含む）20%、レポート 50%、最終レポート（14 回目） 30%					レポート	80%	
					日常評価	20%	
使用テキスト・教材							
適宜資料配布							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. オリエンテーション			2	11. 教育相談の実際（7）－遊び			2
2. 教育相談の意義			2	12. 教育相談の実際（8）－子どもの絵			2
3. 教育相談の基本（1）			2	13. 教育相談の実際（9）－ネット社会			
4. 教育相談の基本（2）			2	14. レポート			2
5. 教育相談の実際（1）－いじめ			2	15. まとめ			
6. 教育相談の実際（2）－不登校			2				2
7. 教育相談の実際（3）－引きこもり			2				2
8. 教育相談の実際（4）－自己肯定感			2				
9. 教育相談の実際（5）－幸福度			2				
10. 教育相談の実際（6）－人間関係			2				
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SR27	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ホイク・キョウシヨクジッセンエンシュウイチ 保育・教職実践演習Ⅰ			演習	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	15	1	三枝 昌美		
授業の目的・目標（科目のねらい）							
知識・技能		保育者を目指す学生として、自分を見つめ直し、現在の自分自身の実態と課題を明確にする。					
思考力・判断力・表現力		子ども一人ひとりの特性や状況に応じて柔軟に対応し、保育現場で直面する課題を観察し、適切な解決方法を導き出す力を身につける。					
学びに向かう力		保育現場での実践力を高め、子どもたちの成長に寄り添うために必要なスキルや知識を深め、柔軟に適応する力を身につける。					
授 業 の 概 要							
今まで学んできた保育・教職にかかわる課題の中から、自分たちの興味のあることや気になることを一つ選び、様々な角度から研究して欲しい。また、物事を追及することの楽しさを知ってほしい。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、課題、発表を総合評価し、合計6 0点以上のものに単位を与える。						課 題	50%
						日常評価	50%
使用テキスト・教材							
必要に応じてプリントを配布する。 履修カルテ							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 実践演習の位置づけと制度			2				
2. 実習の振り返り			2				
3. 保育者の専門性の発達と「実践演習」			4				
4. 保育の現場から			3				
5. 使命感や責任感、教育的愛情及び倫理観			4				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	Y-SR28
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
ジッシュウジゼン・ジゴシドウイチ 実習事前・事後指導 I			演習	対面	こども保育科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	2	長谷川 智子	
授業の目的・目標 (科目のねらい)						
知識・技能		保育プレ実習に向け、保育実習に臨む態度、子ども理解等準備を行う。また、実習の理念を理解し、保育者、社会人としての自覚を持つ。				
思考力・判断力・表現力		実習の目的や学習目標を明確にし、それを意識して行動する力。				
学びに向かう力		保育実習や教育実習を効果的に行うために、事前に必要な知識や心構えを学び、事後に振り返りや課題の整理を通じて成長するために、理論と実践の橋渡しをする力を身につける。				
授 業 の 概 要						
保育実習を円滑におこなうために、目的や課題が明確になるよう事前指導を行う。また、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。日頃の学習の集大成が実習である。失敗を恐れず、積極的に実習に臨めるよう授業を受け、事前準備をしっかりと行う。						
成 績 評 価 基 準						
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計 60 点以上のものに単位を与える。					課 題	50%
					日常評価	50%
使用テキスト・教材						
『新訂 幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド』 同文書院 他						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション			2	8. 指導案とは		4
2. 実習とは 実習の種類			4	9. 園見学		4
3. 保育園・幼稚園・こども園			4	10. 園見学事後指導		4
4. 名札作り			2	11. 教材作成②		4
5. 園見学準備			4	12. プレ実習準備		4
6. 教材作成①			4	13. 振り返り まとめ		6
7. 実習日誌とは			4			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SR29	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ジッシュウジゼン・ジゴシドウニ 実習事前・事後指導Ⅱ			演習	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	60	2	長谷川 智子		
授業の目的・目標 (科目のねらい)							
知識・技能		保育園・幼稚園の観察実習に向け、実習に臨む態度、子ども理解等準備を行う。また、実習の理念を理解し、保育者、社会人としての自覚を持つ。					
思考力・判断力・表現力		実習の目的や学習目標を明確にし、それを意識して行動する力。					
学びに向かう力		保育実習や教育実習を効果的に行うために、事前に必要な知識や心構えを学び、事後に振り返りや課題の整理を通じて成長するために、理論と実践の橋渡しをする力を身につける。					
授 業 の 概 要							
観察実習を円滑におこなうために、目的や課題が明確になるよう事前指導を行う。また、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。日頃の学習の集大成が実習である。失敗を恐れず、積極的に実習に臨めるよう授業を受け、事前準備をしっかりと行う。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計 60 点以上のものに単位を与える。					課 題	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
『新訂 幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド』 同文書院 他							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 保育園・幼稚園の機能と役割			2	10. 実習後について			4
2. 実習計画書作成			4	11. 教材作成②			4
3. 教材研究			4	12. 教材発表			4
4. 年中行事			2	13. 実習心構え			4
5. 教材作成①			4	13. 振り返り まとめ			6
6. 実習日誌の書き方			4				
7. 指導案の書き方			4				
8. 教材の選び方			4				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

					年 度	2025 年度	
シラバス（授 業 概 要）			時間数は4 5分換算		科目コード	Y-SR30	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
ジッシュウジゼン・ジゴシドウサン 実習事前・事後指導Ⅲ			演習	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	通年	必修	60	2	三枝 昌美		
授業の目的・目標（科目のねらい）							
知識・技能		保育園・幼稚園の責任実習に向け、実習に臨む態度、子ども理解等準備を行う。 また、実習の理念を理解し、保育者、社会人としての自覚を持つ。					
思考力・判断力・表現力		実習を受ける意義を理解し、自分にできること、自ら行動することができる よう判断し的確に行動する力を付ける。 自分の得意なことを現場で活かせるよう					
学びに向かう力		座学では学べない現場での知識や子どもとの関わりを意欲的に学ぼうとする。					
授 業 の 概 要							
責任実習を円滑におこなうために、目的や課題が明確になるよう事前指導を行う。また、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。今までの学習の集大成が実習である。失敗を恐れず、積極的に実習に臨めるよう授業を受け、事前準備をしっかりと行う。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計 60 点以上のものに単位を与える。					課 題	10%	
					出欠席	20%	
					評価	70%	
使用テキスト・教材							
『新訂 幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド』 同文書院 他							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 保育者の役割			2	9. 教材作成②			4
2. 教材研究			4	10. 施設実習とは			4
3. 主活動とは			4	11. 児童福祉施設とは			4
4. 教材作成①			2	12. 実習園（施設）の理解			4
5. 実習日誌の書き方（エピソード記録）			4	13. 振り返り まとめ			6
6. 指導案の書き方（責任実習）			4				
7. 子どもの発達段階			4				
8. 指導案立案			4				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	Y-SR31
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
オンガクイチ			演習	対面	こども保育科	
音楽 I						
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	120	4	竹中 紀江	
授業の目的・目標 (科目のねらい)						
知識・技能		音楽 I を基本とし、保育現場で応用できる演奏技能、音楽表現に必要な技能を学ぶ。 合唱・合奏を通じて個々の能力を高め合い音楽の楽しさを知る				
思考力・判断力・表現力		ただピアノを演奏するのではなく、どのように弾いたら綺麗に弾けるか、上達するかなど自ら考え表現していく力を養う。				
学びに向かう力		日頃からの練習を怠らず、不明な点は自ら聞き、意欲的に練習や授業に取り組む姿勢であること。				
授 業 の 概 要						
器楽 (ピアノ) →バイエル教則本を基礎としたテキスト、ブルグミュラー25 の練習曲、ソナチネアルバムを使用し、基礎技能と共に、幼児音楽を楽しく弾き歌いする。 声楽→幼児に素直な声で歌わせるために、発声法の技能を高めよう。 楽典→幼児の音楽に必要な基礎的知識、楽譜が伝えてくれる「音楽」をできるだけ正しく演奏するために、譜面上に記載された約束事を理論によって学ぶ。						
成 績 評 価 基 準						
器楽 (ピアノ)、声楽の実技試験の結果、平常点を総合評価した上で決定する。					授業態度	50%
					実技試験	50%
使用テキスト・教材						
音楽 I 《ピアノ教本》、《声楽教本》ブルグミュラー25 の練習曲、ソナチネアルバム こどものうた大百科～簡易ピアノ伴奏全 302 曲～、プリント、ジュニアクラスの楽典問題集						
授業内容・授業計画						
			時間数			
1. 幼児音楽「生活の歌」反復、速度記号			8	1. 幼児音楽「秋」		
2. 幼児音楽「夏」「行事の歌」、音程			6	2. 課題テスト(ピアノ演奏、弾き歌い)		
3. 課題テスト (ピアノ演奏、弾き歌い)			4	3. 実習に向けての課題曲		
4. 実習に向けての課題曲、音程			1 0	4. 課題テスト(ピアノ演奏、弾き歌い)		
5. 課題テスト (ピアノ演奏、弾き歌い)			8	5. 幼児音楽「冬」、色々なテーマの		
6. 個々の課題曲、記号、標語に即した表現			1 0	曲、移調		
1. 課題テスト (ピアノ演奏)			4	6. 個々の課題曲、記号、標語に即した表現		
				7. ピアノ発表会		
				アンサンブル奏法、移調、コード		
その他			関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	Y-SR32
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
オンガク二			演習	対面	こども保育科	
音楽Ⅱ						
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	2	竹中 紀江	
授業の目的・目標 (科目のねらい)						
知識・技能		音楽Ⅰを基本とし、保育現場で応用できる演奏技能、音楽表現に必要な技能を学ぶ。 合唱・合奏を通じて個々の能力を高め合い音楽の楽しさを知る。				
思考力・判断力・表現力		どのように演奏する事が綺麗に弾けるか、自分の演奏の改善点を判断し実行に移す力や、より豊かに表現できるような力を養う。				
学びに向かう力		現場に行った際必要となるピアノ技術を取得できるように練習に励み自ら不明な点を聞くなど意欲的な姿勢であること。				
授 業 の 概 要						
器楽 (ピアノ) →バイエル教則本を基礎としたテキスト、ブルグミュラー25 の練習曲、ソナチネアルバムを使用し、基礎技能と共に、幼児音楽を楽しく弾き歌いする。 声楽→幼児に素直な声で歌わせるために、発声法の技能を高めよう。 楽典→幼児の音楽に必要な基礎的知識、楽譜が伝えてくれる「音楽」をできるだけ正しく演奏するために、譜面上に記載された約束事を理論によって学ぶ。						
成 績 評 価 基 準						
器楽 (ピアノ)、声楽の実技試験の結果、平常点を総合評価した上で決定する。					授業態度	50%
					実技試験	50%
使用テキスト・教材						
音楽Ⅰ《ピアノ教本》、《声楽教本》ブルグミュラー25 の練習曲、ソナチネアルバム こどものうた大百科～簡易ピアノ伴奏全 302 曲～、プリント、ジュニアクラスの楽典問題集						
授業内容・授業計画						
			時間数			
1. 幼児音楽「生活の歌」反復、速度記号			4	1. 幼児音楽「秋」		
2. 幼児音楽「夏」「行事の歌」、音程			4	2. 課題テスト(ピアノ演奏、弾き歌い)		
3. 課題テスト (ピアノ演奏、弾き歌い)			2	3. 実習に向けての課題曲		
4. 実習に向けての課題曲、音程			6	4. 課題テスト(ピアノ演奏、弾き歌い)		
5. 課題テスト (ピアノ演奏、弾き歌い)			2	5. 幼児音楽「冬」、色々なテーマの		
6. 個々の課題曲、記号、標語に即した表現			4	曲、移調		
1. 課題テスト (ピアノ演奏)			2	6. 個々の課題曲、記号、標語に即した表現		
				7. ピアノ発表会		
				アンサンブル奏法、移調、コード		
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

					年 度	2025 年度	
シラバス (授 業 概 要)			時間数は4 5分換算		科目コード	Y-SR33	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
オンガクサン			演習	対面	こども保育科		
音楽Ⅲ							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	通年	必修	60	2	小林 教子		
授業の目的・目標 (科目のねらい)							
知識・技能		音楽Ⅰを基本とし、保育現場で応用できる演奏技能、音楽表現に必要な技能を学ぶ。 合唱・合奏を通じて個々の能力を高め合い音楽の楽しさを知る。					
思考力・判断力・表現力		技術的な課題を自分なりに考え、解決していく力や、指の動きなど正確な演奏技術を身に付け豊かな表現力を養う。					
学びに向かう力		現場に行った際必要となるピアノ技術を取得できるように練習に励み自ら不明な点を聞くなど意欲的な姿勢であること。					
授 業 の 概 要							
器楽（ピアノ）→バイエル教則本を基礎としたテキスト、ブルグミュラー25の練習曲、ソナチネアルバムを使用し、基礎技能と共に、幼児音楽を楽しく弾き歌いする。 声楽→幼児に素直な声で歌わせるために、発声法の技能を高めよう。 楽典→幼児の音楽に必要な基礎的知識、楽譜が伝えてくれる「音楽」をできるだけ正しく演奏するために、譜面上に記載された約束事を理論によって学ぶ。							
成 績 評 価 基 準							
器楽（ピアノ）、声楽の実技試験の結果、平常点を総合評価した上で決定する。					授業態度	50%	
					実技試験	50%	
使用テキスト・教材							
音楽Ⅰ《ピアノ教本》、《声楽教本》ブルグミュラー25の練習曲、ソナチネアルバム こどものうた大百科～簡易ピアノ伴奏全302曲～、プリント、ジュニアクラスの楽典問題集							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 幼児音楽「生活の歌」			2	1. 幼児音楽「秋」			4
2. 幼児音楽「春」			4	2. 幼児音楽「冬」			4
3. 幼児音楽「夏」			4	3. 幼児音楽「卒園ソング」			4
4. 課題テストに向けて（ピアノ演奏、弾き歌い）			4	4. 課題テスト（ピアノ演奏、弾き歌い）			2
5. 実技試験			1	5. 実技試験			1
1.							
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SR34	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
リトミックイチ リトミック I			演習	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	60	1	岩塚 咲子		
授業の目的・目標 (科目のねらい)							
知識・技能		音楽を使って、身体的・感覚的・知的に優れた子どもたちの育成を目指し、その指導が出来るような技術を身につける。また、各年齢に合ったティーチング、リズム、リズム演奏法を学ぶ。					
思考力・判断力・表現力		音楽のリズムやメロディに合わせて体を動かすことで音楽と動きの関係を理解するとともに、音に合わせ瞬時に動きを変える判断力を養い、リズムに合わせて表現する豊かな感性を育てる。					
学びに向かう力		あらゆる力をバランスよく育て、楽しみながら他者と合わせたり楽しむことを大切に学びに向かおうとする姿勢が見られる。					
授 業 の 概 要							
幼稚園・保育園・支援学校等でのコミュニケーション能力を高めるための知識を学ぶ。							
成 績 評 価 基 準							
器リトミック研究センター (幼稚園・保育園のためのリトミック指導者資格認定試験に基づく)					授業態度	50%	
					実技試験	50%	
使用テキスト・教材							
保育園・幼稚園のためのリトミック ～年間カリキュラムとその実践～							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. リトミックについて、楽しいリトミックの経験①			2	1. ティーチング (4歳児—1学期)			2
2. 基礎的な動き①、2拍子基礎リズム			2	2. ティーチング (4歳児—2学期)			2
3. 基礎的な動き②、拍子			2	3. リズムフレーズ (2・3拍子)・リズムカノン (3拍子)			4
4. リズムの演奏法 (3歳児指導法・1学期)			2	4. リズムの演奏法 (4歳児—1～2学期)			2
5. ティーチング (3歳児指導法・1学期)			2	5. ティーチング (4歳児—3学期)			2
6. リズムの演奏法 (3歳児—2学期)			2	6. リズムカノン (3・4拍子)・複リズム①			4
7. ティーチング (3歳児—2学期)			2	7. リズム演奏法 (4歳児—3学期・5歳児—1学期)			4
8. 楽しいリトミックの経験④、基礎リズム③			2	8. ティーチング (5歳児—2学期)			2
9. ティーチング (3歳児—3学期)			2	9. ティーチング (5歳児—3学期) 試験			4
10. リズム演奏法 (3歳児—3学期)			2	公示			
11. 基礎リズム (3・4拍子)			2	10. リズムカノン・複リズム Ostinato			4
12. リズムフレーズ (2・3拍子)			2				
13. リズム演奏法 (3歳児—1～3学期)			4				
1. 14. 2級資格認定試験							
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度		
時間数は4 5分換算					科目コード	Y-SR35		
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス			
シュワ			講義	対面	こども保育科			
手話								
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
3	後期	必修	30	1	長谷川 智子			
授業の目的・目標 (科目のねらい)								
知識・技能		手話の技術と障害者問題や聞こえないことを学ぶことにより、卒業後、それぞれの進路（職場や地域）で、自らが障害者に対する理解者になること。学生が主体的に参加する授業やグループ討議等で、意見交換し話し合いながら、考える力・伝える力を身につける。						
思考力・判断力・表現力		自分にはない考えや相手の置かれた環境に寄り添い理解しようとする気持ちを育てる。						
学びに向かう力		自分の知らなかった手話に興味を持ち、主体的に学び覚えようとする姿勢をもつ。						
授 業 の 概 要								
毎回、講義と手話の実技とをセットで行う。 講義では、聴覚障害者を取り巻く環境や制度、障害者観を学ぶ。また、沼津市聴覚障害者の会の聴覚障害者当事者から、聞こえないことで不便なこと・困っていること・学生に伝えたいことなどを話していただき聴覚障害者と交流することで、伝える・伝わったことを体験してもらう。								
成 績 評 価 基 準								
期末試験は、講義から出題する筆記試験と、手話の読み取り試験を行う。また、感想文の提出を総合的に評価する					課 題	80%		
					日常評価	20%		
使用テキスト・教材								
必要に応じプリントを配布する。								
授業内容・授業計画								
1. 手話を学ぶにあたって 手話の基本			時間数	2	6. 手話実技		時間数	2
2. 手話の基礎知識 手話実技			2		7. 手話実技 聴覚障害者の生活体験② 手話サークル		2	2
3. 手話実技			2		8. 手話ソング		10	
4. 手話実技			2		9. 手話ソング発表		6	
5. 手話実技 聴覚障害者の生活体験から①			2					
その他				関連科目				

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	Y-SR36
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
エホソ 絵本			演習	対面	こども保育科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	2	佐藤 友美	
授業の目的・目標 (科目のねらい)						
知識・技能		幼児教育の視点から絵本について考察し、知識・技術を習得していく。絵本の種類や選び方・読み聞かせの方法等、実践を通して学んでいくことを目標とする。				
思考力・判断力・表現力		絵本のストーリーや登場人物の行動を理解し、物語のテーマやメッセージを考える力や、絵本を見て感じたことなどを自分の言葉で表現できるようになる。				
学びに向かう力		絵本に興味を持ち、絵本を通しクラスメイトなどと意見交換をしたりディスカッションをしたりする中で他者の考えを尊重する姿勢でいる。				
授 業 の 概 要						
絵本は子どもの心を動かし、ダイレクトに言葉を心に届けることができる。また、幼児期に育てていきたい多くの要素をもっている。自身も楽しみながら多くの絵本に触れてほしい。						
成 績 評 価 基 準						
期末試験は絵本を実際に全員の前で読む実技試験とする。読み方や声の大きさ、聞きやすさ等、絵本を読む上でのポイントを押さえているかどうかを評価する。また、毎時間作成する絵本リストを課題とし、授業態度と合わせて総合判断する。					授業態度	40%
					期末試験	60%
使用テキスト・教材						
授業内プリント						
授業内容・授業計画						
			時間数	時間数		
1. 絵本とは			2			
2. 絵本の種類			6			
3. 子どもの発達に応じた絵本			8			
4. 読み聞かせの方法・実践			6			
5. 絵本リスト作成(各授業)			2			
6. 教材研究			2			
7. 紙芝居			2			
1. 素話まとめ			2			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SR37	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
キョウザイケンキュウ			演習	対面	こども保育科		
教材研究							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	通年	必修	60	2	佐藤 友美		
授業の目的・目標 (科目のねらい)							
知識・技能		保育園や幼稚園で活動や指導をする際、教材研究が必須となる。対象となる子どもに合わせ準備ができるよう様々な知識を習得するとともに、柔軟な対応ができる思考力を養う。					
思考力・判断力・表現力		教材の意図や目的を分析し、子どもの成長に効果的であるかどうかを見極める。また適切な内容にするための視点を持ち、具体的なアイデアを考える。					
学びに向かう力		子どもの学びの効果を高めるために、単なる知識伝達ではなく、深い学びや自律的な学習を支える力を身に付ける。					
授 業 の 概 要							
教材研究には、いろいろな方法がある。製作を例に挙げても、何を作るか、保育者がどこまで準備をするか、材料は何を使うか、道具は何を用いるのか、1日でどこまで進めるか等、検討することはさまざまである。授業の前半は、いろいろな知識の習得、後半は実践を重ねて学んでいく。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、課題提出の状況を総合評価し、合計 60 点以上のものに単位を与える。					課 題	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
授業内で提示							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 「教材研究」とは			2	10. 遊具			2
2. 道具 (着色・描くもの)			2	11. 玩具			2
3. 道具 (切るもの)			2	12. 子どもに適した活動とは			2
4. 道具 (貼るもの)			2	13. 教材研究 (グループワーク) 製作			1 0
5. お道具箱とは			2	14. 教材研究 (グループワーク) 遊び			1 0
6. 素材 (廃材)			2	15. 教材研究 (グループワーク) 行事			1 0
7. 素材 (紙)			2	16. まとめ			4
8. 素材 (その他)			2				
9. こどもの発達に合った準備とは			2				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SR38	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ホイクプレジッショウ			演 習	対 面	こども保育科		
保育プレ実習							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担 当 教 員		
1	後期	必修	30	2	長谷川 智子		
授業の目的・目標 (科目のねらい)							
知識・技能		実際の保育現場で実習を行うことで、保育の業務内容や保育士として必要な経験を積む。					
思考力・判断力・表現力		保育所や幼稚園の一日の流れや、活動の構成を理解する力。					
学びに向かう力		実際の保育現場を体験する前に、現場の基本的な流れや保育者の役割を理解し、保育実習本番に向けた準備をする。					
授 業 の 概 要							
積極的に保育現場に入ること、プロの保育者になるための自覚や責任感を養う。							
成 績 評 価 基 準							
積極的に保育現場に入ること、プロの保育者になるための自覚や責任感を養う。					日常評価	100%	
使用テキスト・教材							
『新訂 幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド』 同文書院 他							
授業内容・授業計画							
1. オリエンテーション 2. 保育園自主実習 3. 反省・考察			時間数				
			2				
			2 4				
			4				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SR39	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ソウゴウエンシュウイチ 総合演習 I			演習	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	30	2	三枝 昌美		
授業の目的・目標 (科目のねらい)							
知識・技能		子育てサロンでの実践やさまざまな園に出向く中で、子どもとかかわる経験、保育者から学ぶ経験を増やし、実践的な経験を積む。					
思考力・判断力・表現力		これまでに学んだ各科目の知識を結びつけ、課題に応じた適切な解決策を導き出す力。					
学びに向かう力		実践的な課題やプロジェクトに取り組むことで、専門的なスキルを深化させ、社会や現場で役立つ総合力を高める					
授 業 の 概 要							
子どもとかかわる経験を積み、子どもと積極的にかかわれるようになってほしい。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計6 0点以上のものに単位を与える。					課 題	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
必要に応じてプリントを配布する。							
授業内容・授業計画							
			時間数	時間数			
1. オリエンテーション			2				
2. 園研究			2				
3. 特別講座			10				
4. 園見学・子育てサロン			14				
5. 振り返り・まとめ			4				
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	Y-SR40
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
ソウゴウエンシュウニ 総合演習Ⅱ			演習	対面	こども保育科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	後期	必修	30	2	長谷川 智子	
授業の目的・目標 (科目のねらい)						
知識・技能		3年間の集大成として、保育に関する総合的な学習能力を習得する。 今まで学んできた保育・教育にかかわる課題の中から、さらに伸ばしたいものを自ら選び極めていく。				
思考力・判断力・表現力		どのような行動をしたら保育者にふさわしいのか自分自身で考え、臨機応変に判断できる力を養う。				
学びに向かう力		保育業界に求められている能力を理解し、そこまで達成しようという姿勢がある。				
授 業 の 概 要						
保育者にも得手不得手がある。 自らの強み・弱みを受け止め、自分の課題に向き合い授業を進めていく。						
成 績 評 価 基 準						
授業態度、成果物の状況を総合評価し、合計 60 点以上のものに単位を与える。					課 題	40%
					日常評価	60%
使用テキスト・教材						
授業内で提示						
授業内容・授業計画						
			時間数	時間数		
1. 実習報告			2			
2. 自らの強み・弱み			2			
3. 課題探求			2			
4. グループ作成課題に取り組む			20			
5. 成果発表			4			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		Y-SR41	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
オンガク ガクテン			演習	対面	こども保育科		
音楽（楽典）							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	30	2	小林 教子		
授業の目的・目標（科目のねらい）							
知識・技能		音楽の基礎理論として、楽譜の読み方や書き方、楽譜からの情報の読み取り方について学ぶ。					
思考力・判断力・表現力		音楽を構成するリズム、メロディ、ハーモニーなどの要素を理解する。 また自分の感情や考えを音楽で表現する力を養う。					
学びに向かう力		どのようにしたら綺麗に表現できるか改善をしようとしたり、上手になれるか意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。					
授 業 の 概 要							
楽譜の決まりを知ること、音楽のさまざまな仕組みを学ぶことを目標とする。							
成 績 評 価 基 準							
出欠席及び平常点、筆記試験の結果で評価する					授業態度 50% 期末試験 50%		
使用テキスト・教材							
ジュニアクラスの楽典問題							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1. 楽典とは			2				
2. 楽譜の書き方・読み方・意味			4				
3. 音符と休符			4				
4. 拍子とリズム			4				
5. 奏法記号			4				
6. 音程			4				
7. 音階			4				
8. コード奏法			2				
1. まとめ			2				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SR42	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ヒショケンテイ 秘書検定			講義	対面	こども保育科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	30	2	遠藤 茂瑚		
授業の目的・目標 (科目のねらい)							
知識・技能		ビジネスマナーや知識を学び、秘書の基礎を学ぶ。秘書検定3級の資格取得を目指す。					
思考力・判断力・表現力		自己評価を行い、弱点を克服する姿勢を持つ。					
学びに向かう力		社会人基礎力の一部としてこれらの力を身に付けることで、検定の合格だけでなく、実際の職場でも積極的に成長し続けることができる。					
授 業 の 概 要							
ビジネスマナーや知識を学び、秘書の基礎を学ぶ。社会人として恥ずかしくないマナーを身に着ける。							
成 績 評 価 基 準							
授業態度、課題の状況を総合評価し、合計 60 点以上のものに単位を与える。					筆記試験	50%	
					日常評価	50%	
使用テキスト・教材							
授業内で提示							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 秘書とは			2				
2. 秘書の仕事と範囲			2				
3. 練習問題・解説			4				
4. 郵便について			4				
5. パソコン業務について			2				
6. 練習問題・解説			4				
7. 秘書の心構え			2				
8. 練習問題・解説			10				
9.							
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	Y-SR43
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
ホイクシャジュンビコウザ 保育者準備講座			講義	対面	こども保育科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	後期	必修	30	2	長谷川 智子	
授業の目的・目標（科目のねらい）						
知識・技能		保育・教育分野への就職を強く意識し、4 月から担任になることを想定し、現在出来る準備を行う。				
思考力・判断力・表現力		即戦力として自分が何をしたらいいか即座に対応できるスキルを身に付ける 臨機応変に行動できるようにする。				
学びに向かう力		保育者になることへの意識を高め、自ら様々な知識を付けようとする。				
授 業 の 概 要						
実際に自分が保育現場で働くことを想定し、クラス運営に必要な教材作りを行う。 また一つひとつの活動（歌、手遊び、朝の会、帰りの会、主活動）別に指導案を立て、活動のねらいや内容を検討する力を身につける。また担任の立場を味わい、自覚を持てるようにする。						
成 績 評 価 基 準						
出欠席及び平常点、課題の提出状況で結果を評価する					課 題	40%
					日常評価	60%
使用テキスト・教材						
授業内で提示						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 保育者になる意識、自覚を持つ			2	9. 部分実習指導案（歌・朝の会・帰りの会・食事）		2
2. 担任業務について・連絡帳・お便りの書き			2	10. 担任ごっこ（指導案に添って実際に保育を行う）		4
3. 指導計画案の立て方（年間・月案・週案・日案）			2	11. 子供に人気の遊び		2
4. 保育現場に必要な教材制作			4			
5. 園長先生 講演			2			
6. ピアノ・歌指導について			2			
7. 衣装作り・発表会、お遊戯会に向けて			4			
8. お遊戯・体操指導について			4			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は45分換算					科目コード	Y-SR44
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
ソツギョウケンキュウ			演 習	対 面	こども保育科	
卒業研究						
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担 当 教 員	
3	通年	必修	60	2	三枝 昌美	
授業の目的・目標 (科目のねらい)						
知識・技能		今まで学んできた保育・教育にかかわる課題の中から、自分の関心のあるものを選び、分析、考察、検討を行うとともに、その課題について、児童や保護者を援助するための技術、方法について研究を進める。				
思考力・判断力・表現力		研究テーマに基づきさまざまな視点から研究を進められるようにする。伝えたい部分の表現を自分なりに考え適切な表現ができるようにする。				
学びに向かう力		他者と協働して進めていく姿勢や、主体性を持って進めていこうとする。				
授 業 の 概 要						
今まで学んできた保育・教職にかかわる課題の中から、自分たちの興味のあることや気になることを一つ選び、様々な角度から研究して欲しい。また、物事を迫及することの楽しさを知ってほしい。						
成 績 評 価 基 準						
授業態度、論文提出の状況を総合評価し、合計 60 点以上のものに単位を与える。					課 題	80%
					日常評価	20%
使用テキスト・教材						
授業内で提示						
授業内容・授業計画						
			時間数	時間数		
1. 卒論とは			2			
2. 卒論基礎知識			2			
3. テーマ決め			4			
4. グループワーク (論文を進める)			48			
5. 卒研発表			4			
その他				関連科目		